

内外経済動向

2023年7月

世界銀行・OECD 経済見通し（2023年6月公表）

- 世界銀行の世界経済見通しでは、2023年の世界の実質成長率見通しは2.1%と、前回（1.7%）から上方修正。経済活動再開による中国の回復に支えられて持ち直すと見込んでいる。他方、世界的な金融引締めや低調な外需が新興国・途上国の成長の重しとなり、2022年の3.1%からは減速する見通し。
- OECDの世界経済見通しでも、2023年の世界の実質成長率見通しは2.7%と、前回（2.6%）から上方修正。米欧や日本、中国などの主要国の見通しはいずれも大きく変更されなかった。中国経済の回復やエネルギー価格の上昇一服が成長を下支えする一方、インフレや金融引締めの長期化、ウクライナ侵略等により成長が下振れするリスクを指摘。

	2023年成長率見通し					
	世界銀行		OECD		(参考) IMF (2023年4月)	
	(2023年1月)	(2023年6月)	(2023年3月)	(2023年6月)		
世界	1.7%	↗ 2.1%	2.6%	↗ 2.7%	2.8%	
先進国	0.5%	↗ 0.7%	-	-	1.3%	
日本	1.0%	↘ 0.8%	1.4%	↘ 1.3%	1.3%	
米国	0.5%	↗ 1.1%	1.5%	↗ 1.6%	1.6%	
ユーロ圏	0.0%	↗ 0.4%	0.8%	↗ 0.9%	0.8%	
新興国・途上国	3.4%	↗ 4.0%	-	-	3.9%	
中国	4.3%	↗ 5.6%	5.3%	↗ 5.4%	5.2%	
インド	6.6%	↘ 6.3%	5.9%	↗ 6.0%	5.9%	
ロシア	▲3.3%	↗ ▲0.2%	▲2.5%	↗ ▲1.5%	0.7%	

(資料) World Bank「Global Economic Prospects」(June 6, 2023)、OECD「Economic Outlook」(June 7, 2023)、IMF「World Economic Outlook」(April 11, 2023)

※(前回見通しと比較して)↑:上方修正、↓:下方修正、→:横ばい。

※2023年成長率見通しのハイライトは今回公表分

日本經濟

米**国**經濟

中**国**經濟

欧**州**經濟

6月月例経済報告の概要（6/22公表）

<総括判断>（据え置き）

今月

景気は、緩やかに回復している。

（本年5月） 景気は、緩やかに回復している。

（本年3・4月） 景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

（本年1・2月） 景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

（昨年7～12月） 景気は、緩やかに持ち直している。

<先行き>（前月から変更なし）

今月

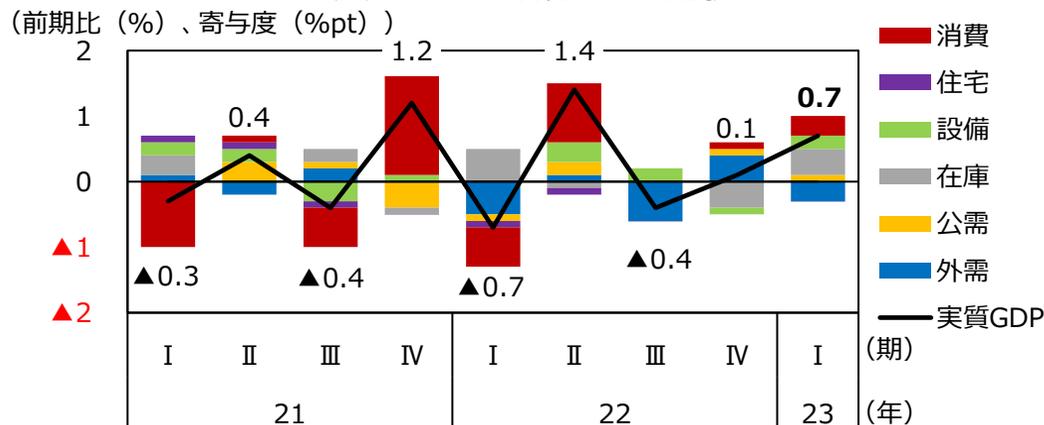
先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。

ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

GDP

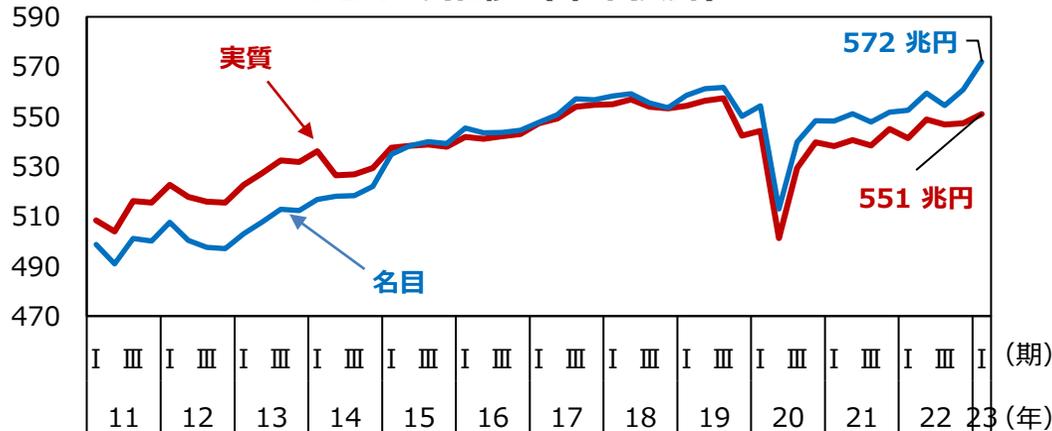
- 23年1-3月期実質GDP（2次速報値）は、民間最終消費支出及び民間企業設備等の増加に伴い、前期比+0.7%（年率2.7%）と、2四半期連続のプラス成長。（1次速報値：前期比+0.4%、年率+1.6%）
- 実質で551兆円（年率換算）、名目で572兆円（年率換算）。

実質GDPの成長率の推移



(資料) 内閣府「国民経済計算」2023年6月8日公表（2次速報値）

GDPの推移（年率換算）



(資料) 内閣府「国民経済計算」2023年6月8日公表（2次速報値）

(注) 実質GDPは2015年基準

実質GDP成長率の変動要因

	1-3月期(1次速報)		1-3月期(2次速報)	
	前期比%	寄与度%pt	前期比%	寄与度%pt
実質GDP	+0.4		+0.7	
民間消費	+0.6	(+0.3)	+0.5	(+0.3)
住宅投資	+0.2	(+0.0)	▲0.1	(▲0.0)
設備投資	+0.9	(+0.2)	+1.4	(+0.2)
民間在庫	-	(+0.1)	-	(+0.4)
政府消費	▲0.0	(▲0.0)	+0.1	(+0.0)
公共投資	+2.4	(+0.1)	+1.5	(+0.1)
輸出	▲4.2	(▲0.9)	▲4.2	(▲0.9)
輸入	▲2.3	(+0.6)	▲2.3	(+0.6)
名目GDP	+1.7		+2.0	

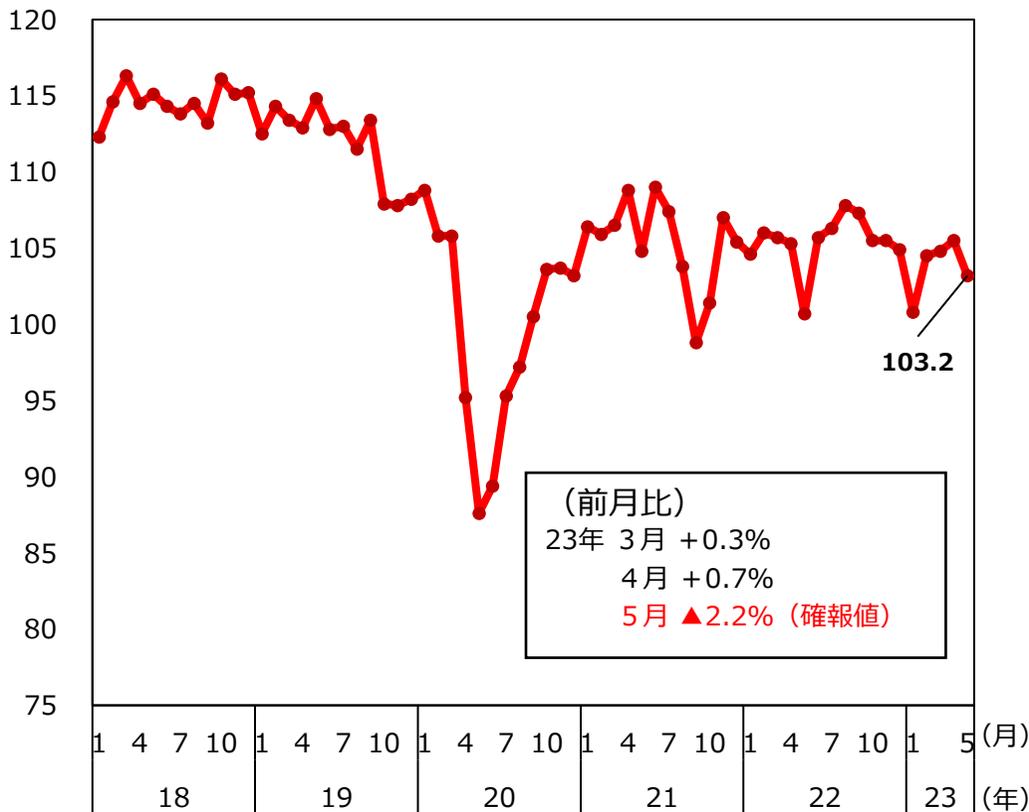
(資料) 内閣府「国民経済計算」2023年6月8日公表（2次速報値）

生産

- 23年5月は、前月比▲2.2%と4ヶ月ぶりの低下。4月まで上昇が続いていたが、5月は、その反動に加え部材供給不足の影響などを受けて、自動車工業をはじめ多くの業種が低下。生産用機械工業は、一進一退の中で足下は上昇。
- 23年5月の生産の基調判断は、「生産は緩やかな持ち直しの動き」（据え置き）。

鉱工業指数の推移

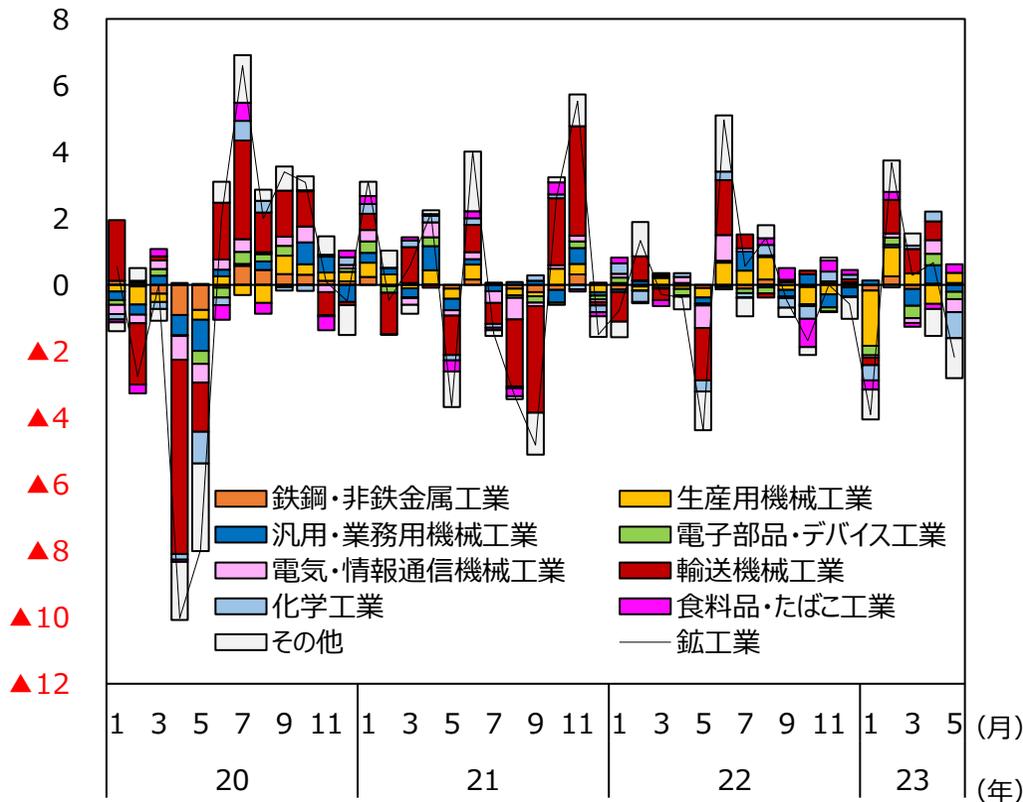
(2020年 = 100)



(資料) 経済産業省「鉱工業指数」2023年7月14日公表 (確報値)
(注) 季節調整値

変動要因 (業種別)

(%, %pt)

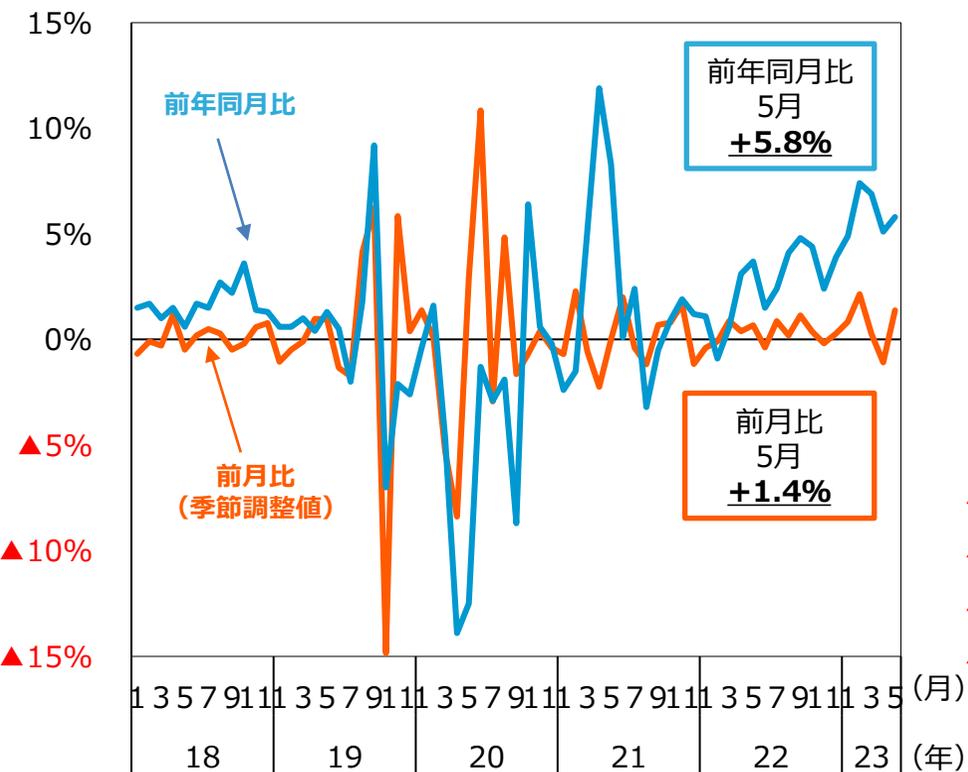


(資料) 経済産業省「鉱工業指数」2023年7月14日公表 (確報値)
(注) 季節調整値

消費①

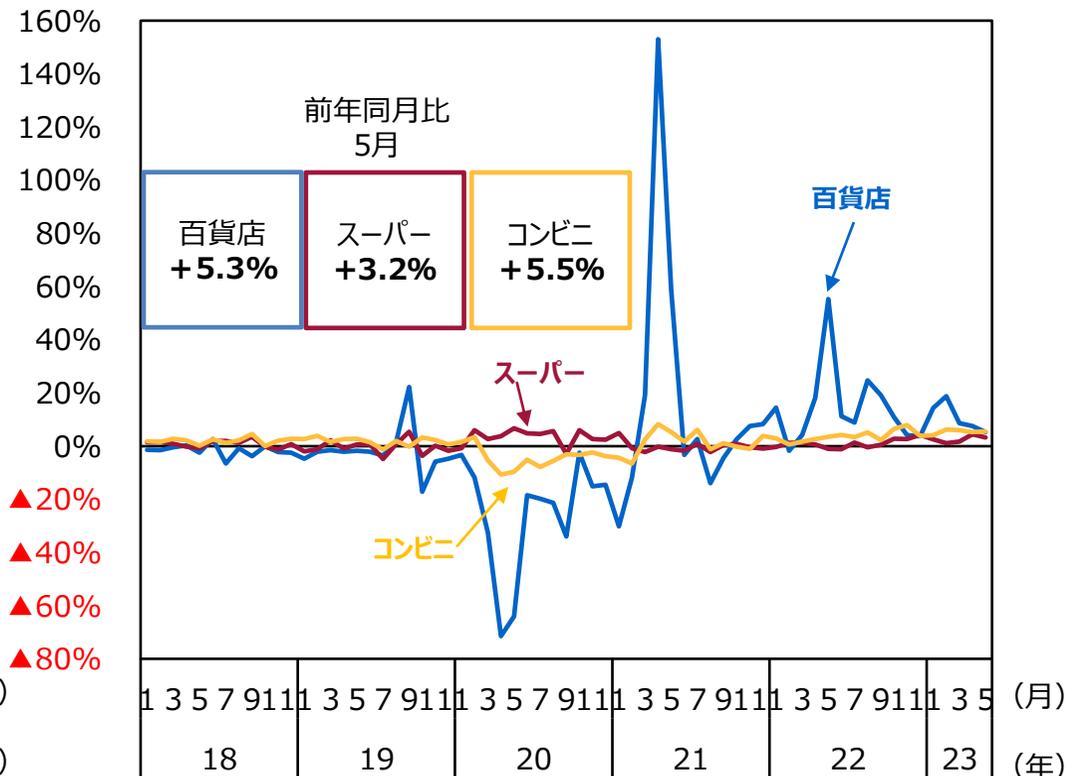
- 23年5月の小売業販売額は、13兆1160億円。前年同月比は+5.8%で15か月連続の増加となり、前月比は+1.4%で2か月ぶりの増加となった。
- 主要な業態である百貨店、コンビニ、スーパーは、いずれも前年同月比で増加となった。

小売業販売額



(資料) 経済産業省「商業動態統計」2023年7月18日公表 (確報値)

(前年同月比) 百貨店・スーパー・コンビニ (全店)

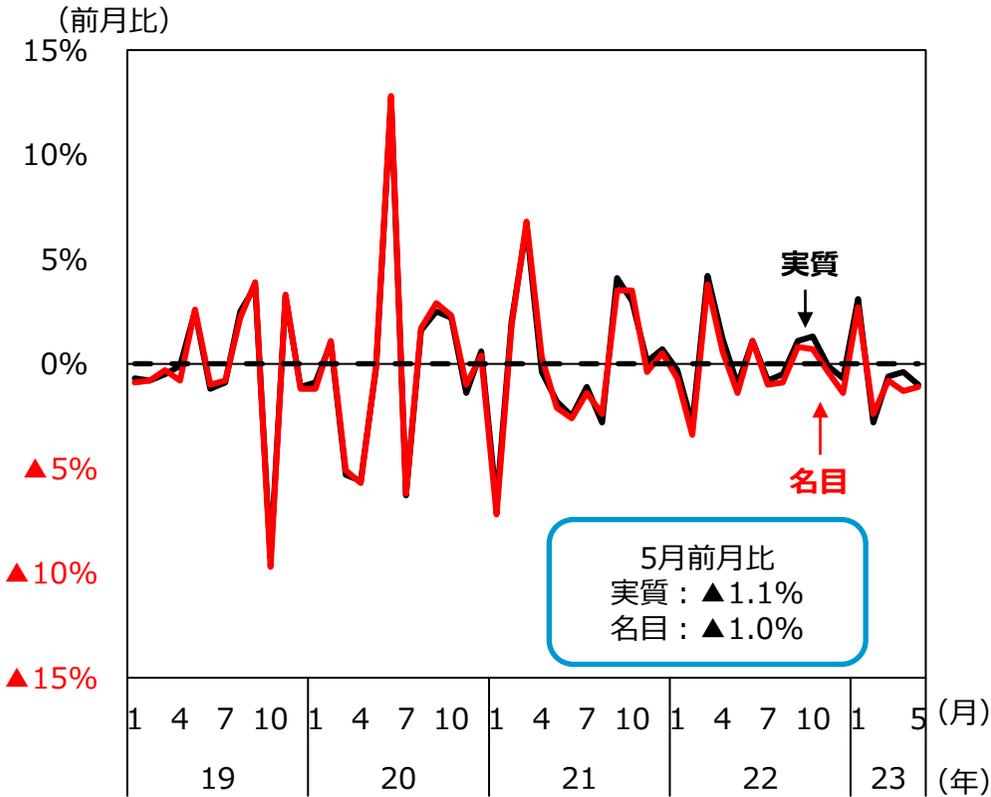


(資料) 経済産業省「商業動態統計」2023年7月18日公表 (確報値)

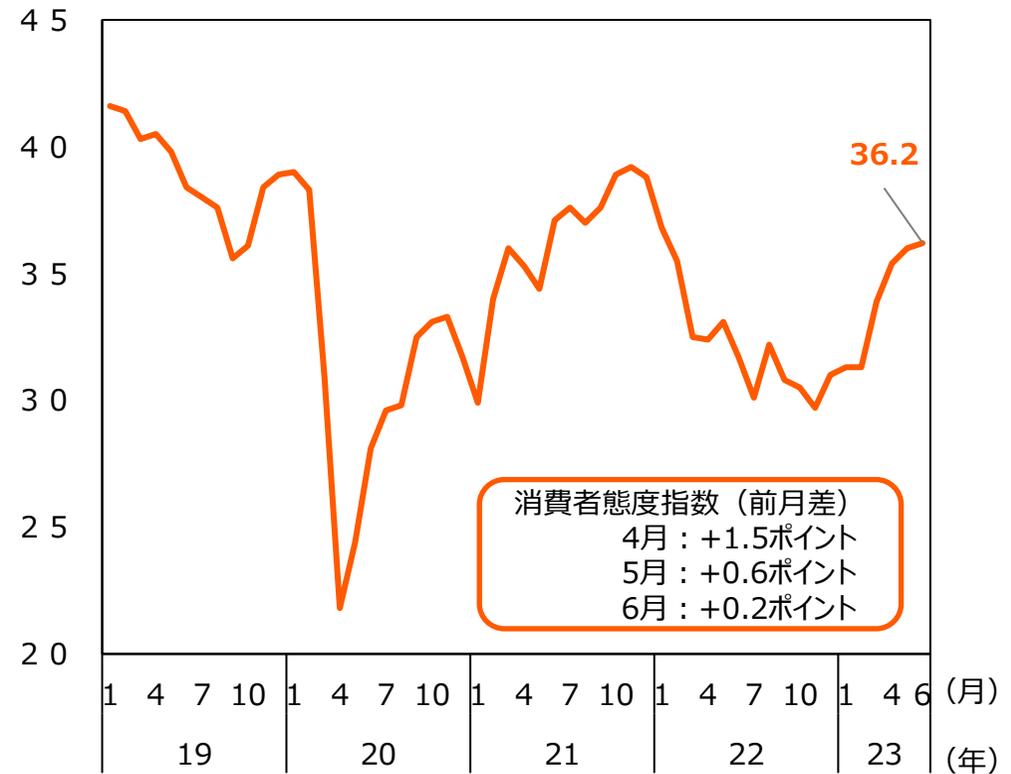
消費②

- 23年5月の実質家計消費支出は前月比▲1.1%と、4か月連続のマイナス（前年同月比は▲4.0%と3か月連続のマイナス）。なお、名目家計消費支出は前月比▲1.0%（前年同月比は▲0.4%）。
- 消費者マインドは、持ち直している。

家計消費支出の推移



消費者態度指数



(資料) 総務省「家計調査」2023年7月7日公表
(注) 二人以上の世帯、季節調整値。

(資料) 内閣府「消費動向調査」2023年6月29日公表
(注) 二人以上の世帯、季節調整値。

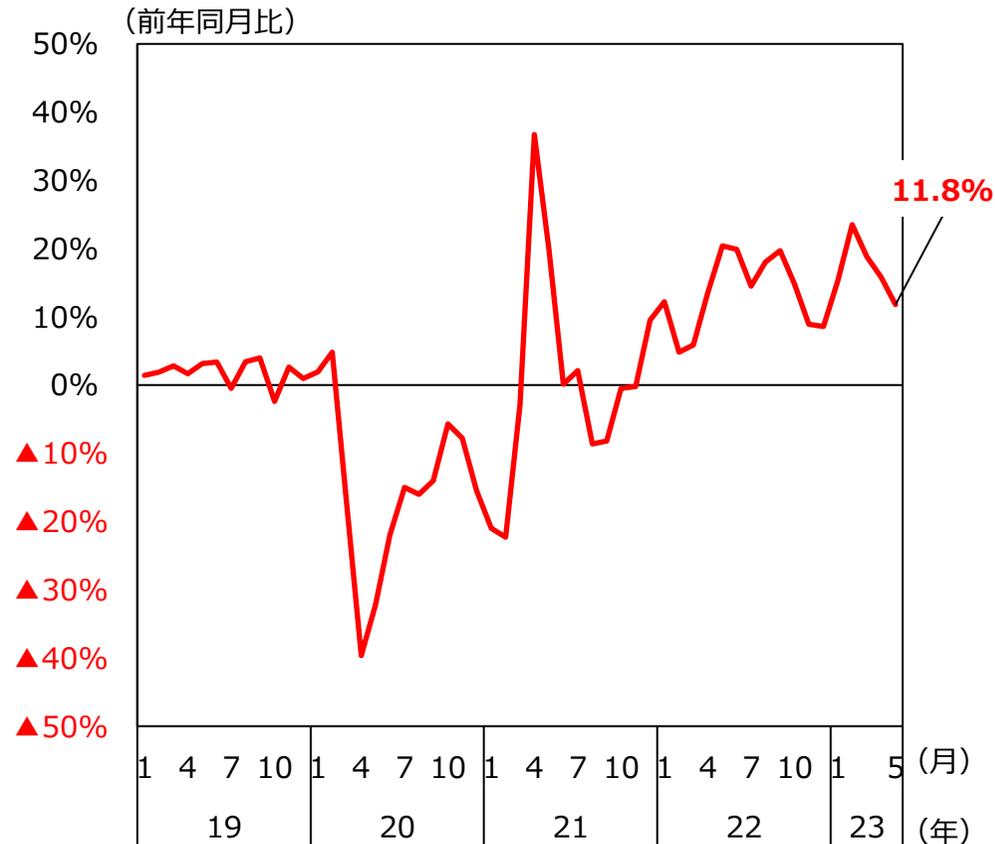
消費③

- 23年6月の新車販売台数は33.2万台。前年同月比は+23.9%と10か月連続のプラス。
- 23年5月の外食売上高は前年同月比+11.8%のプラス。

新車販売台数（乗用車計）



外食売上高



(資料) 日本自動車販売協会連合会「車種別販売台数」2023年7月3日公表
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車 新車販売台数」2023年7月3日公表

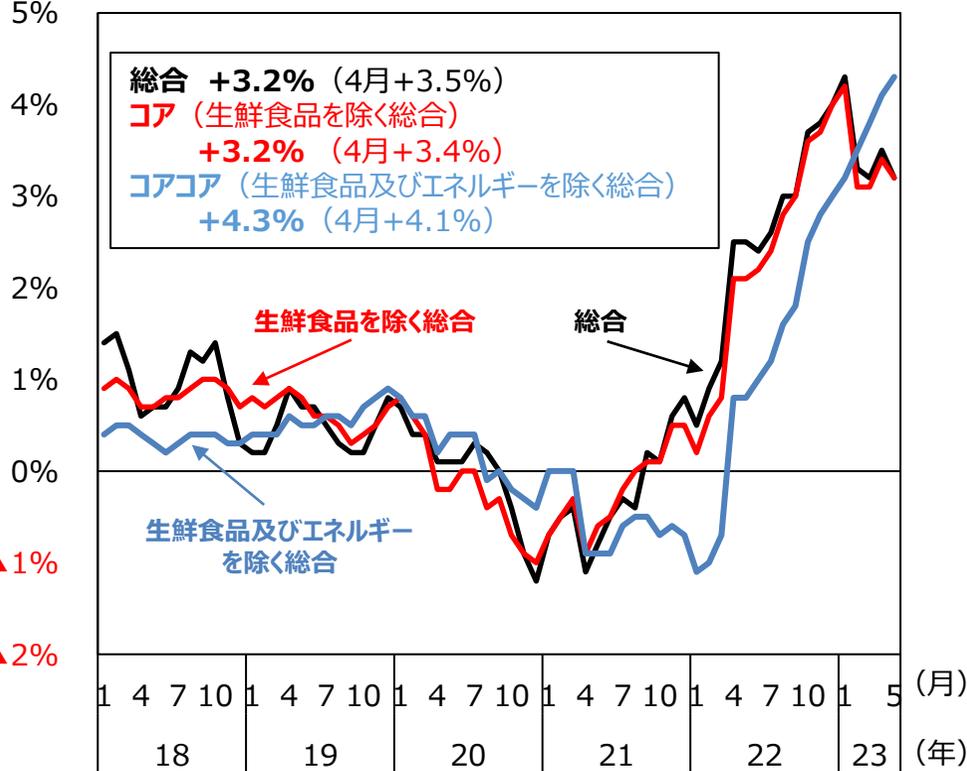
(資料) 日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」2023年6月26日公表

物価①

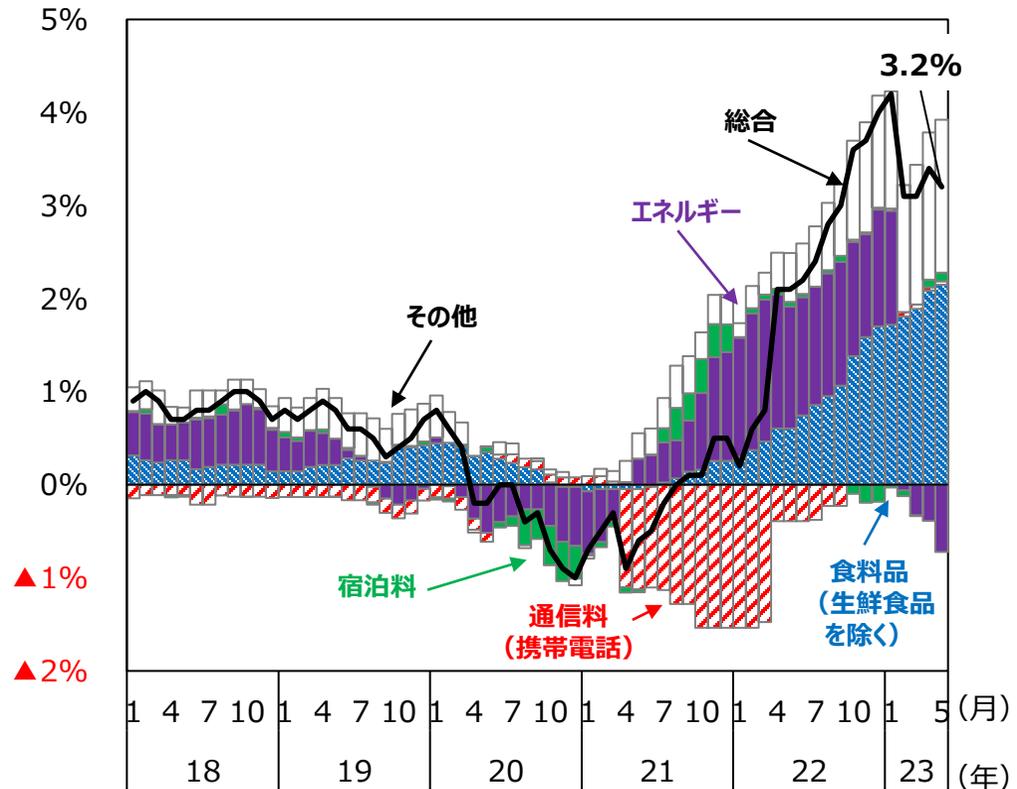
- 23年5月の消費者物価指数（総合）は前年同月比+3.2%、生鮮食品を除く総合（コア）は同+3.2%、生鮮食品及びエネルギーを除く総合（コアコア）は同+4.3%となった。

消費者物価指数の推移

(前年同月比)



(前年同月比) 生鮮食品を除く総合の寄与度分解



(資料) 総務省「消費者物価指数」2023年6月23日公表

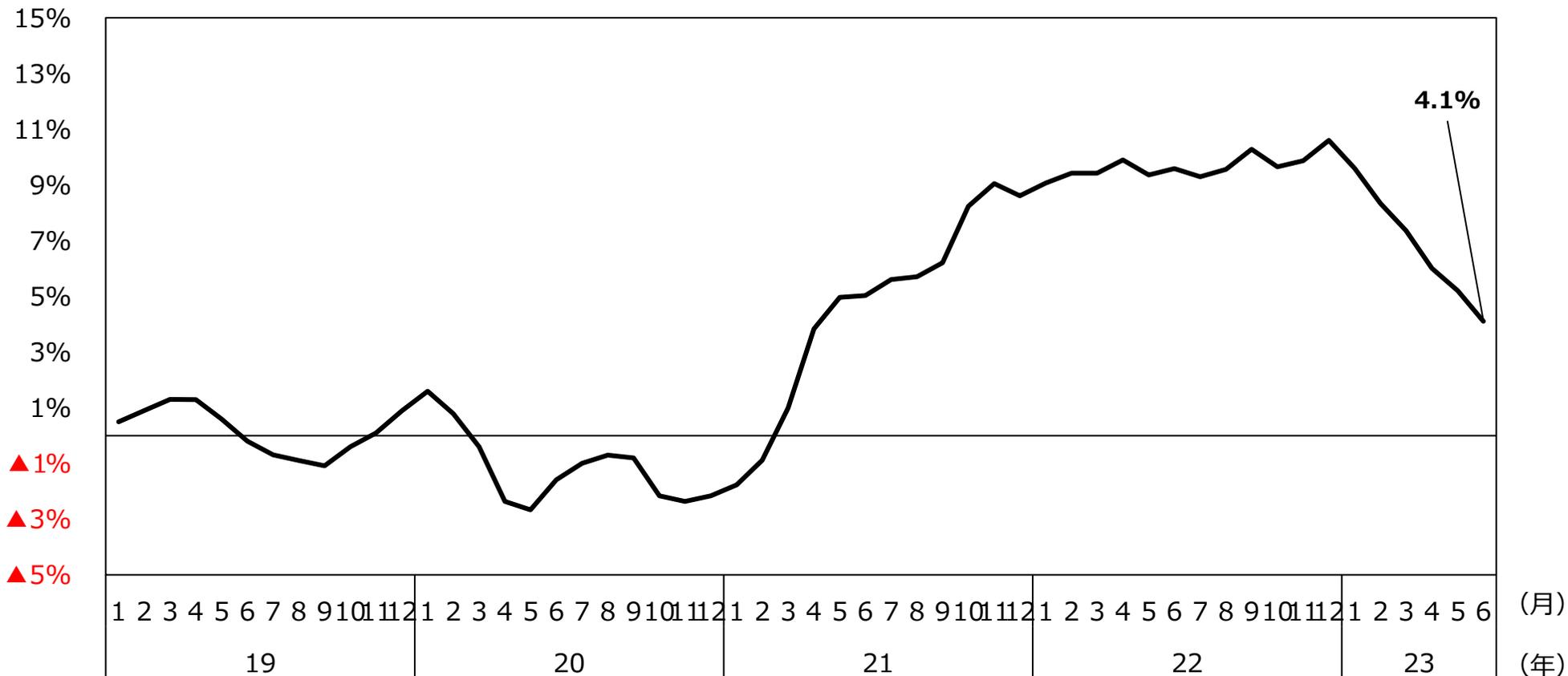
(資料) 総務省「消費者物価指数」2023年6月23日公表

物価②

- 23年6月の国内企業物価指数は前年同月比+4.1%（23年5月：同+5.2%）と、資源高などの一服により伸びが鈍化傾向。

国内企業物価指数の推移

(前年同月比)

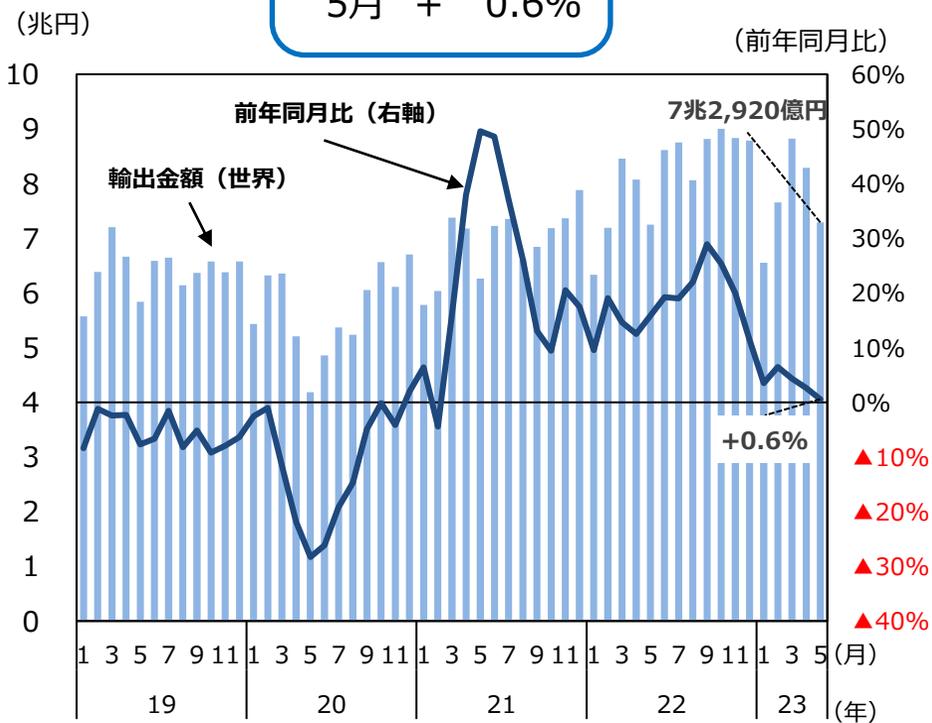


輸出

- 23年5月の輸出金額（7兆2,920億円）は前年同月比+0.6%と27か月連続の増加。
- 実質輸出は前月比▲3.5%と4か月ぶりの減少。

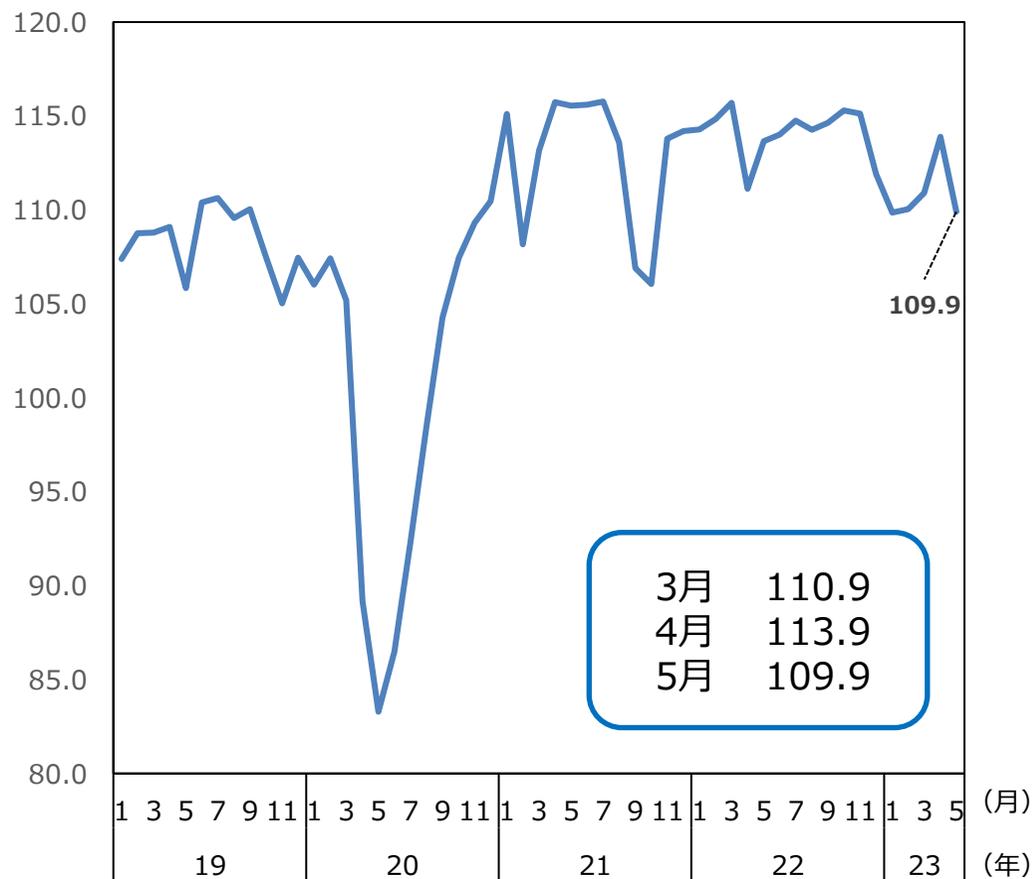
輸出金額の推移（原数値）

3月 + 4.3%
4月 + 2.6%
5月 + 0.6%



(資料) 財務省「貿易統計」2023年6月29日公表（確報値）

(2020年 = 100) 実質輸出の推移（季節調整値）

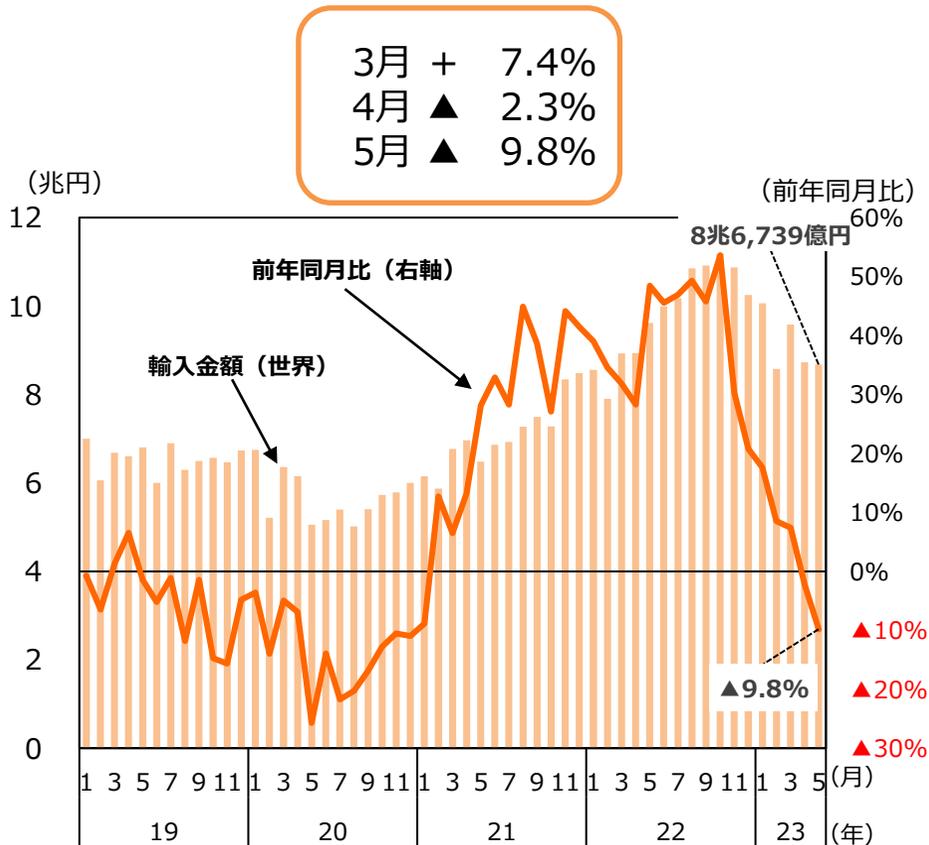


(資料) 日本銀行「実質輸出入の動向」2023年6月15日公表

輸入

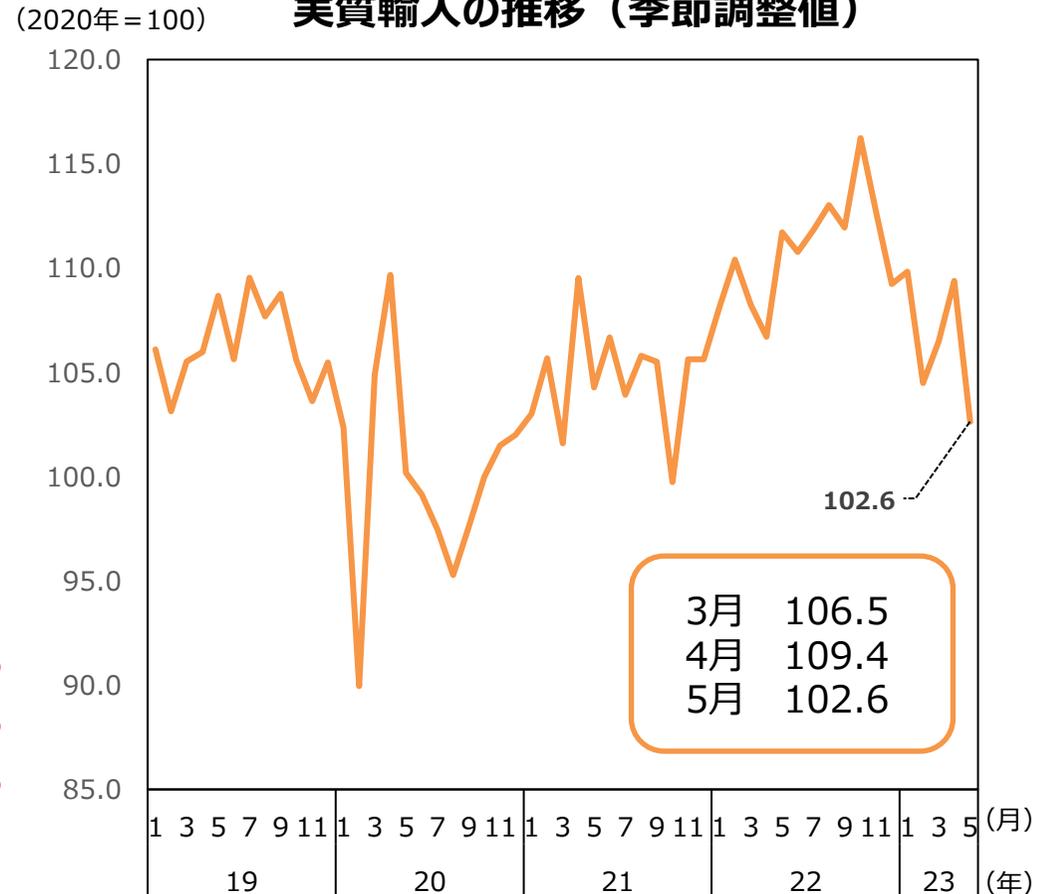
- 23年5月の輸入金額（8兆6,739億円）は前年同月比▲9.8%と2か月連続の減少。
- 実質輸入は前月比▲6.2%と3か月ぶりの減少。

輸入金額の推移（原数値）



(資料) 財務省「貿易統計」2023年6月29日公表（確報値）

実質輸入の推移（季節調整値）

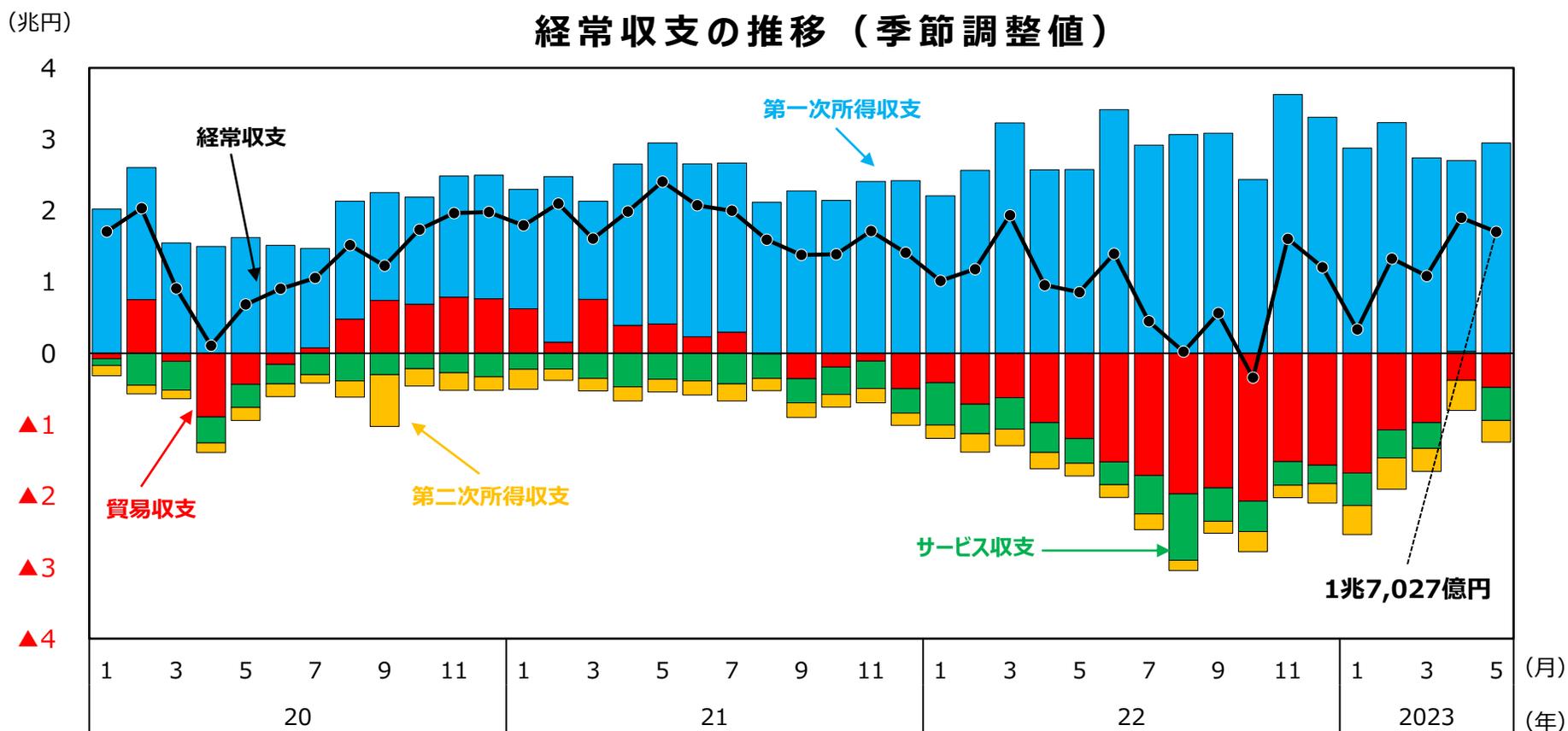


(資料) 日本銀行「実質輸出入の動向」2023年6月15日公表

経常収支

- 23年5月の経常収支（季節調整値）は+1兆7,027億円と、7か月連続の黒字。
- 内訳項目をみると、貿易収支は赤字が拡大、サービス収支は赤字に転化、第一次所得収支※は黒字が拡大した。

※対外金融債権・債務から生じる利子・配当金等の収支状況を示す。

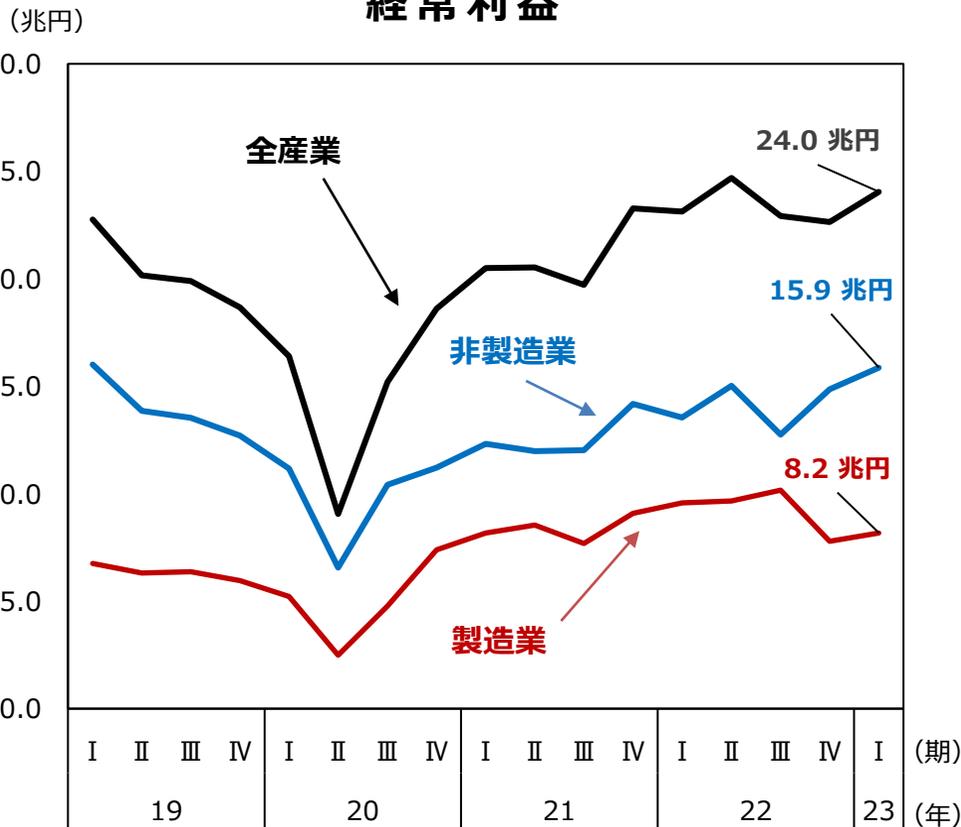


（資料）財務省「国際収支状況」2023年7月10日公表（速報値）

企業収益 業況判断

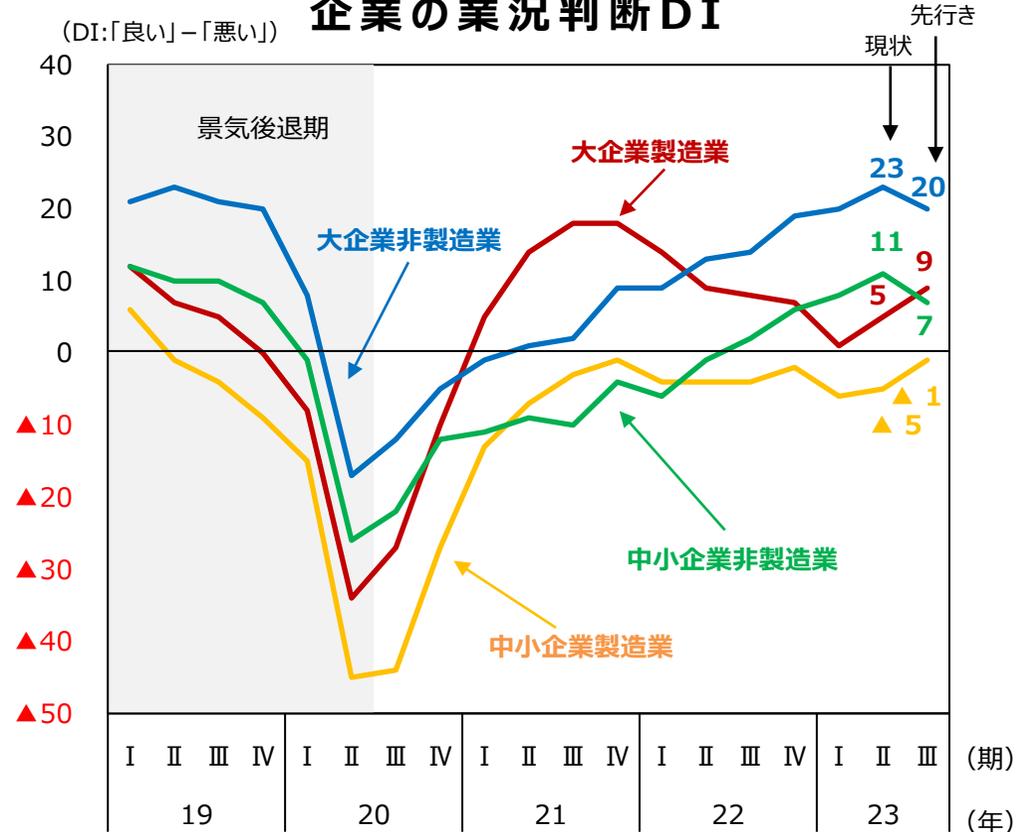
- 23年1-3月期の経常利益は、全規模全産業で24.0兆円(前期比+6.2%)と3四半期ぶりの増益。製造業は同+5.0%と2四半期ぶりの増益となり、非製造業は同+6.8%と2四半期連続の増益となった。
- 足下の業況は、いずれの業種・規模においても改善となった。先行きは、いずれの規模においても製造業では改善が見込まれる一方で、非製造業では悪化が見込まれる。

経常利益



(資料) 財務省「法人企業統計季報」2023年6月1日公表
(注) 季節調整値、金融業・保険業を除く。

企業の業況判断DI



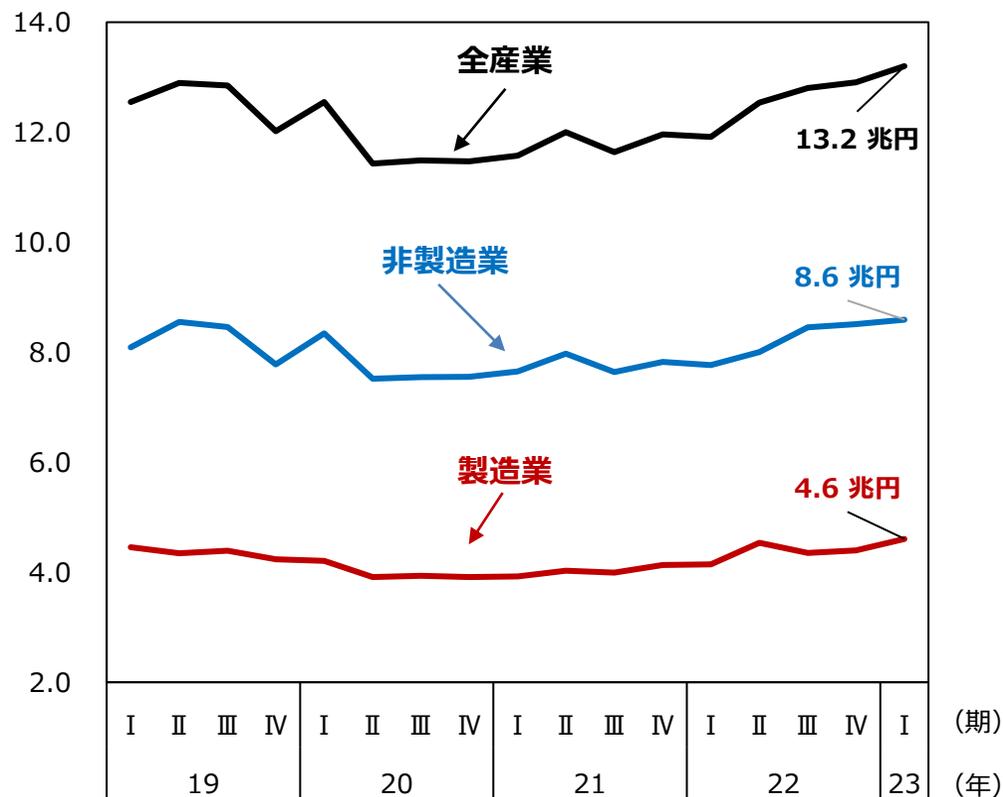
(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2023年7月3日公表

設備投資

- 23年1-3月期の設備投資は、全規模全産業で13.2兆円（前期比+2.3%）と、4 四半期連続の増加。製造業は同+4.8%と2 四半期連続の増加となり、非製造業は同+1.0%と4 四半期連続の増加となった。
- 2022年度の設備投資計画は、全規模全産業で前年度比+9.2%と、前回調査(同+11.4%)から下方修正。2023年度は、同+11.8%と、前回調査（同+3.8%）から上方修正。

設備投資

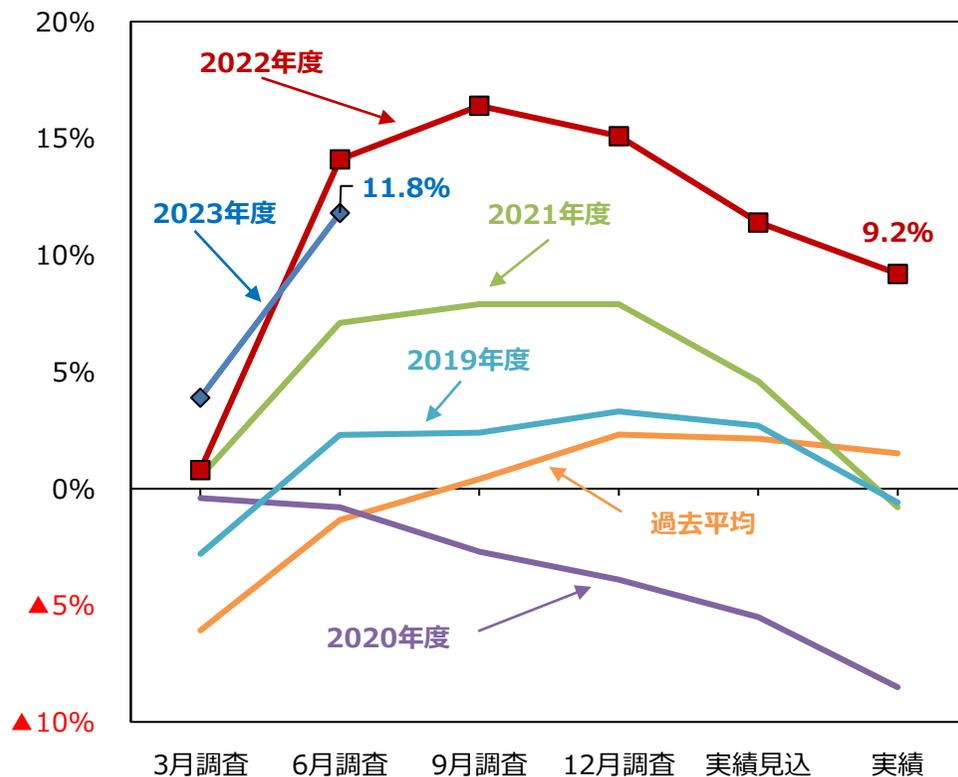
(兆円)



(資料) 財務省「法人企業統計季報」2023年6月1日公表
 (注) 季節調整値、金融業・保険業を除く、ソフトウェアを含む。

設備投資計画

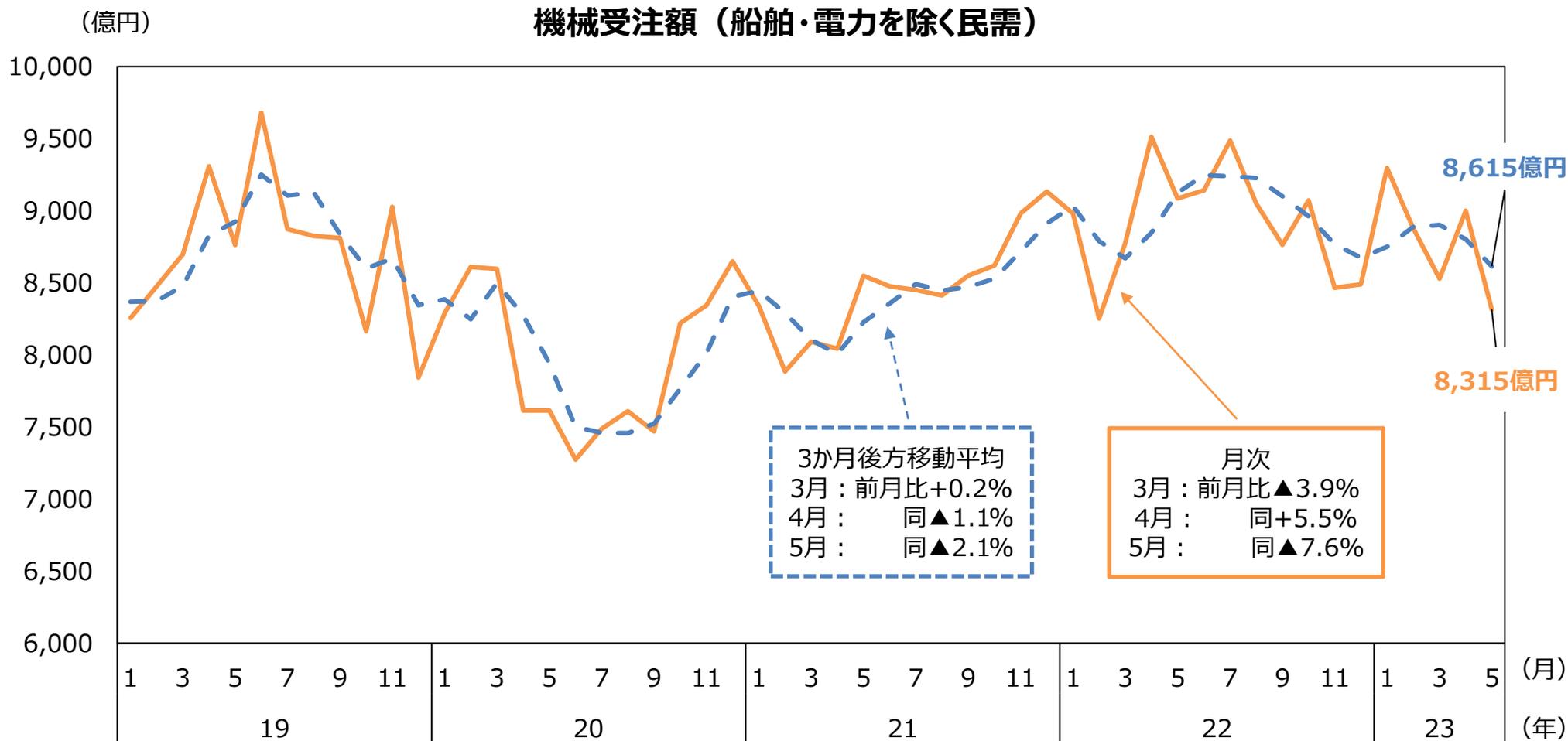
(前年度比)



(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2023年7月3日公表
 (注) 「過去平均」は、1982年度～2018年度の平均値。
 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額・研究開発投資額を含まない。

機械受注

- 5月の機械受注額(船舶・電力を除く民需)は、8,315億円（前月比▲7.6%）と、2か月ぶりの減少。
- 基調判断は、「足踏みがみられる」と前月から据え置き。

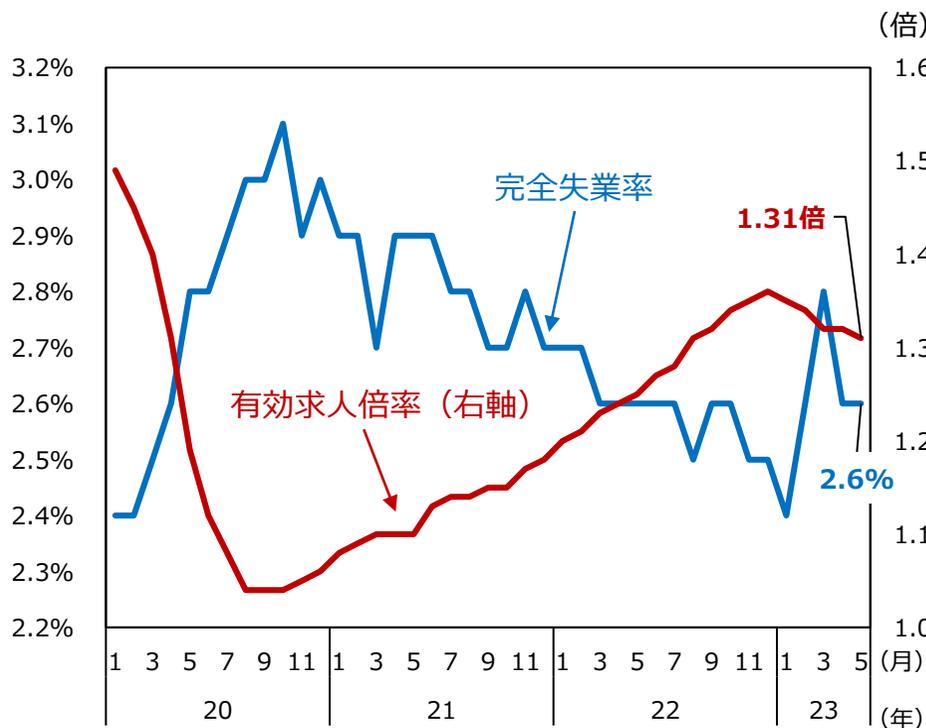


(資料) 内閣府「機械受注統計」7月12日公表

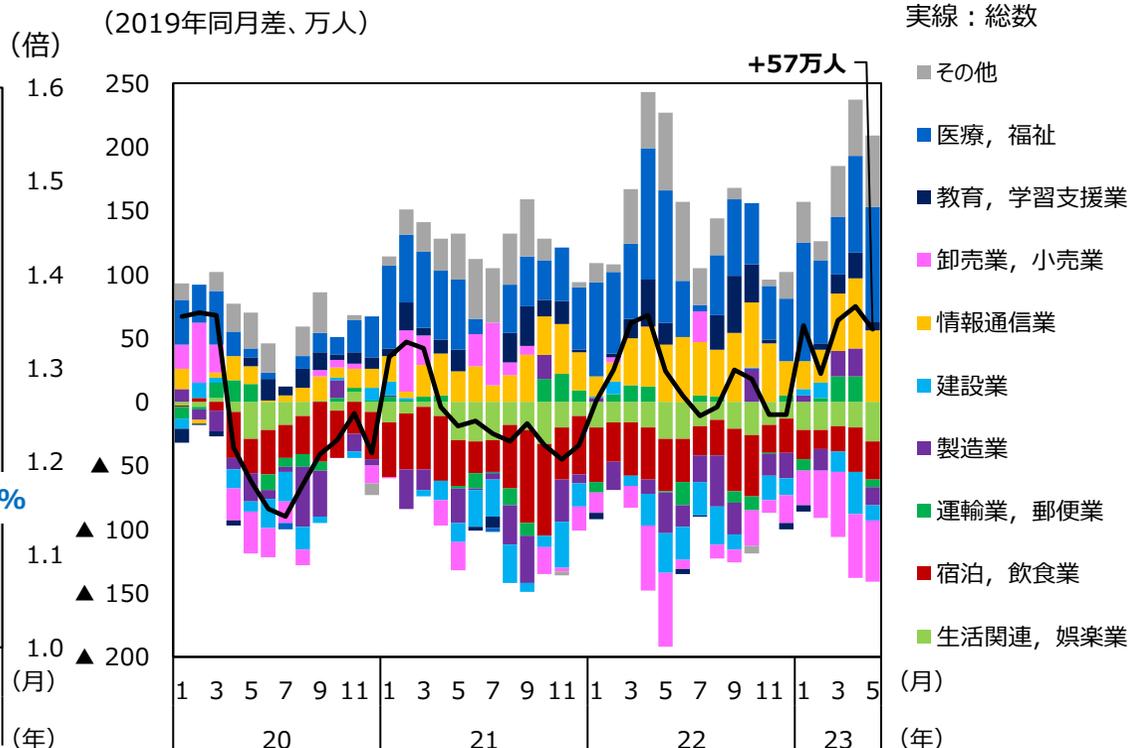
雇用

- 23年5月の完全失業率は2.6%と横ばい。有効求人倍率は1.31倍と前月から低下。
- 23年5月の雇用者数は、19年同月差で+57万人。産業別では、情報通信業・医療、福祉等がコロナ前との比較で増加。

失業率・有効求人倍率



雇用者数の増減（産業別）



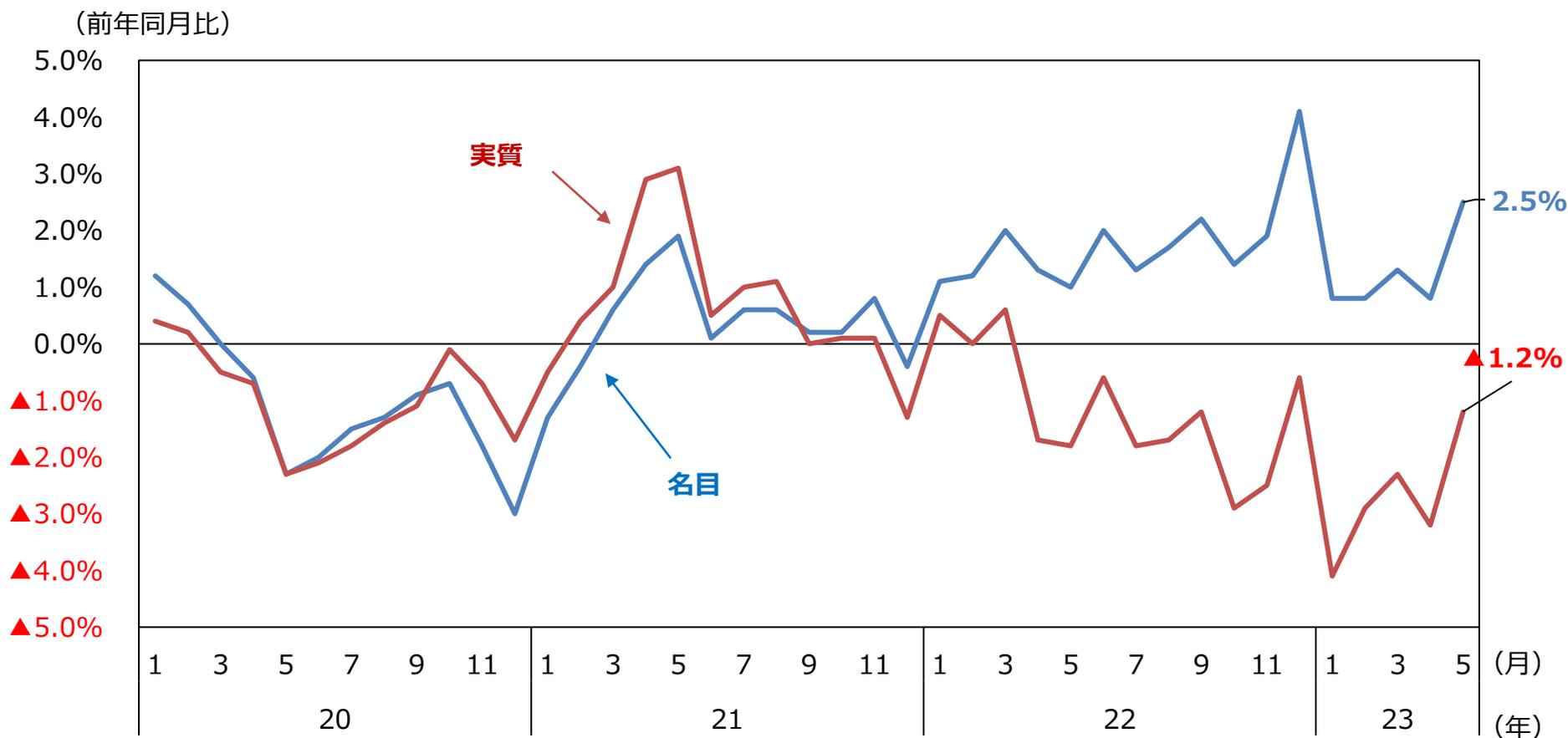
(資料) 総務省「労働力調査」2023年6月30日公表
厚生労働省「一般職業紹介状況」2023年6月30日公表
(注) 季節調整値

(資料) 総務省「労働力調査」2023年6月30日公表

賃金

- 23年5月の名目賃金は前年同月比+2.5%、実質賃金は同▲1.2%。
- 名目賃金は、春闘による賃上げが段階的に反映されたことなどにより、前月から大幅に伸び率が上昇。他方、実質賃金は、名目賃金の伸びが物価上昇に追いついていない状況が続いており、14ヶ月連続のマイナスとなった。

名目賃金と実質賃金（現金給与総額）



(資料) 厚生労働省「毎月勤労統計」2023年7月7日公表 (速報値)

日本經濟

美国經濟

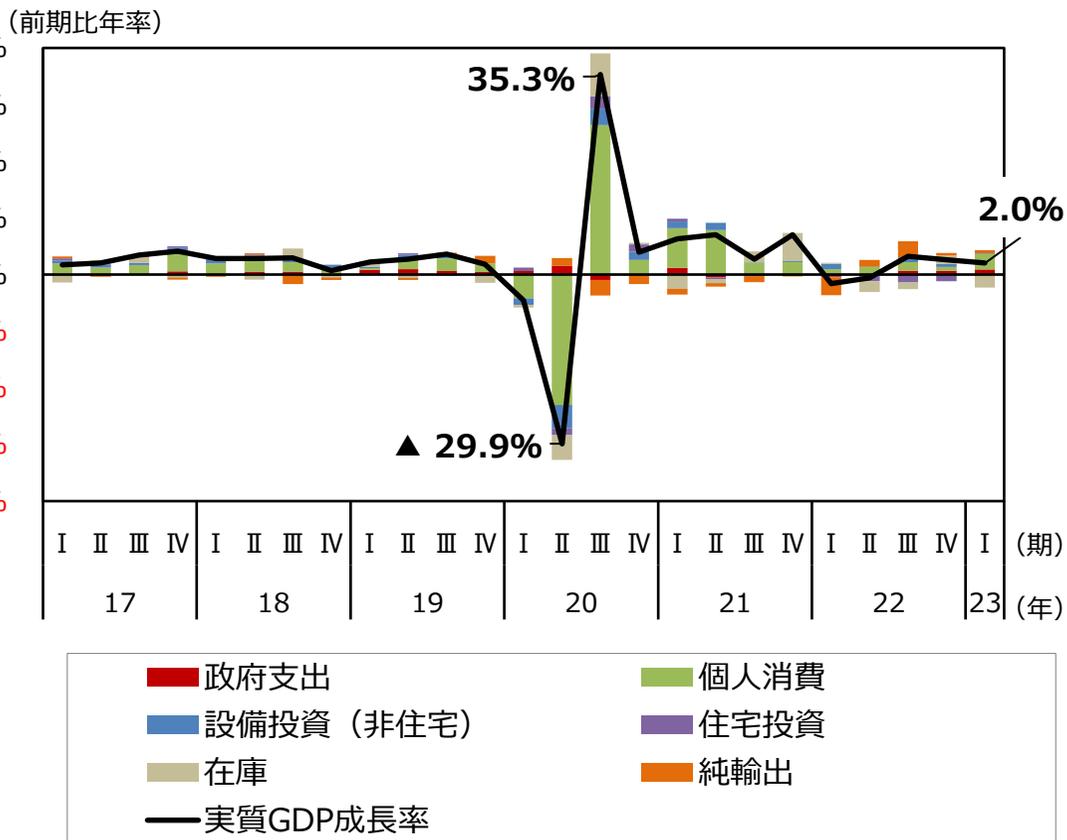
中国經濟

欧州經濟

米国 GDP

- 23年1-3月期実質GDP成長率（確報）は、前期比年率+2.0%と3四半期連続のプラス成長となった。在庫投資が全体を押し下げたものの、個人消費がプラスに大きく寄与した。

米国実質GDP寄与度（需要項目別）



(資料) 米商務省「GDP統計」2023年6月29日公表（確報値）
(注) 季節調整値

需要項目別・成長率

(前期比年率)

	10-12月期	1-3月期 確報	増減
実質GDP	2.6	2.0	▲ 0.6
個人消費	1.0	4.2	3.2
設備投資	4.0	0.6	▲ 3.4
住宅投資	▲ 25.1	▲ 4.0	21.1
輸出	▲ 3.7	7.8	11.5
輸入	▲ 5.5	2.0	7.5
政府支出	3.8	5.0	1.2

(資料) 米商務省「GDP統計（確報）」2023年6月29日公表

需要項目別・寄与度

(前期比年率)

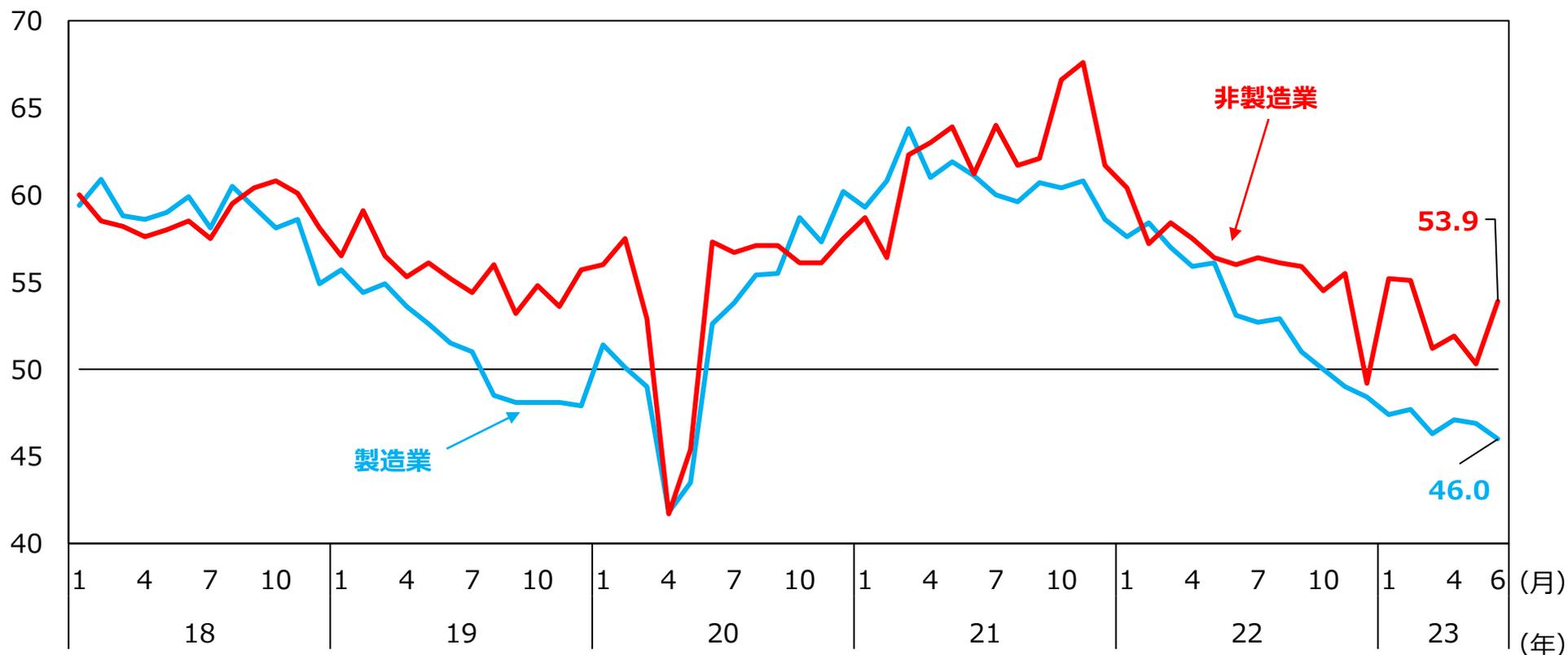
	10-12月期	1-3月期 確報	増減
実質GDP	2.6	2.0	▲ 0.6
個人消費	0.7	2.8	2.1
設備投資	0.5	0.1	▲ 0.4
住宅投資	▲ 1.2	▲ 0.2	1.0
在庫投資	1.5	▲ 2.1	▲ 3.6
輸出	▲ 0.4	0.9	1.3
輸入	0.9	▲ 0.3	▲ 1.1
政府支出	0.7	0.9	0.2

(資料) 米商務省「GDP統計」2023年6月29日公表（確報値）

米国 ISM製造業・非製造業景気指数

- 23年6月ISM製造業景気指数（総合）は46.0と、前月（46.9）から低下した。
- 23年6月ISM非製造業景気指数（総合）は53.9と、前月（50.3）から上昇した。

ISM製造業・非製造業景気指数

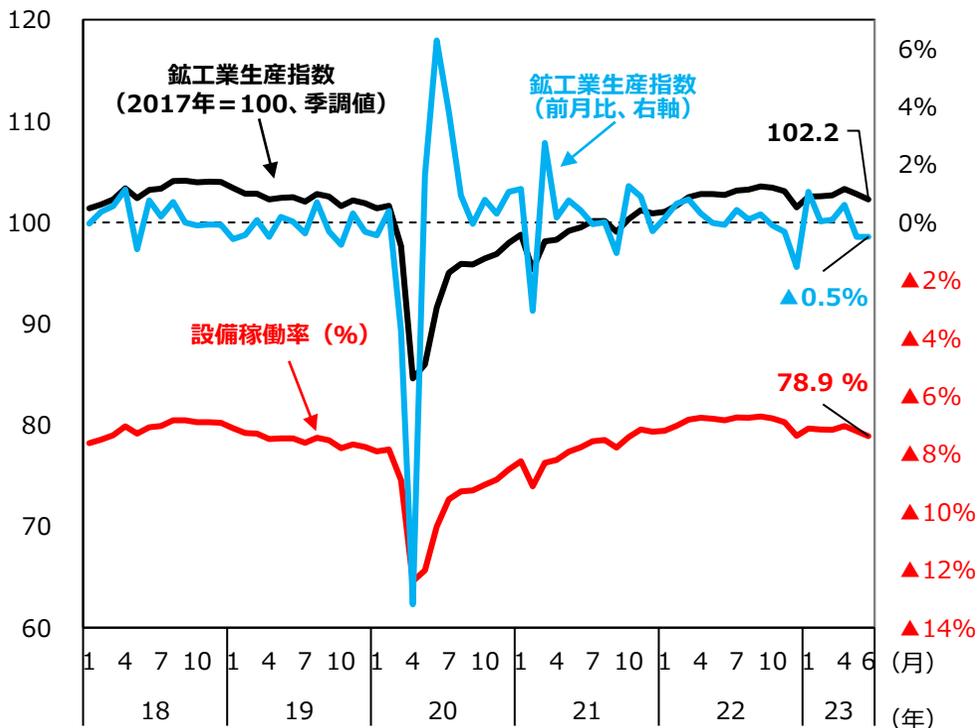


(資料) 米国供給管理協会 (ISM) 製造業：2023年7月3日公表 非製造業：2023年7月6日公表

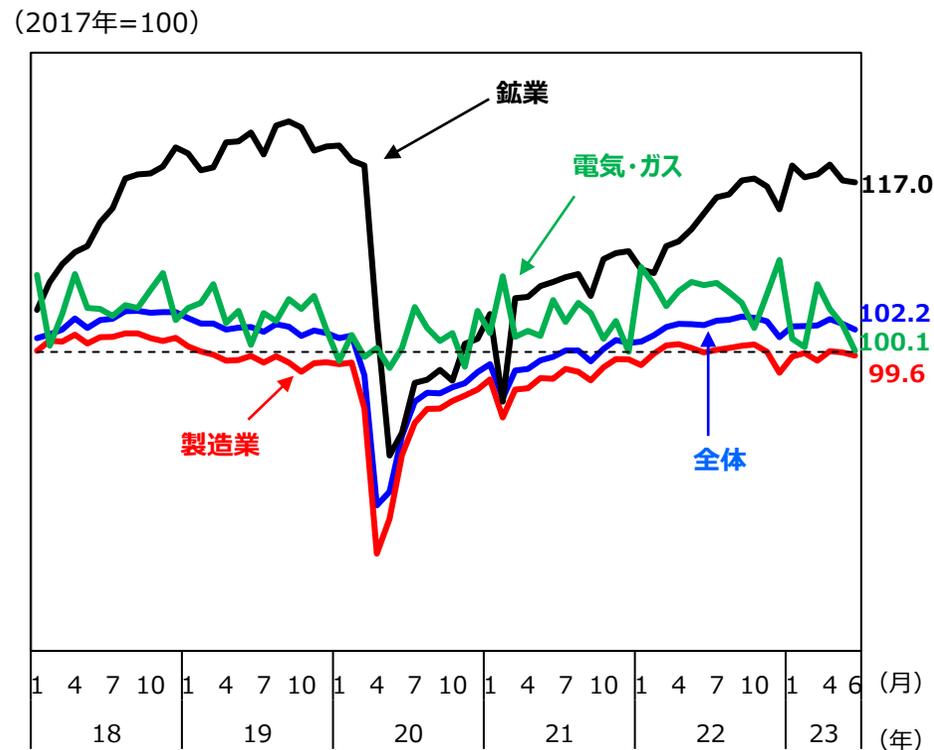
米国 生産

- 6月の鉱工業生産指数は前月比▲0.5%（前月：同▲0.5%）と減少。
- 内訳をみると、製造業は前月比▲0.3%、鉱業は同▲0.2%、電気・ガス生産は同▲2.5%といずれも減少した。

鉱工業生産指数と設備稼働率



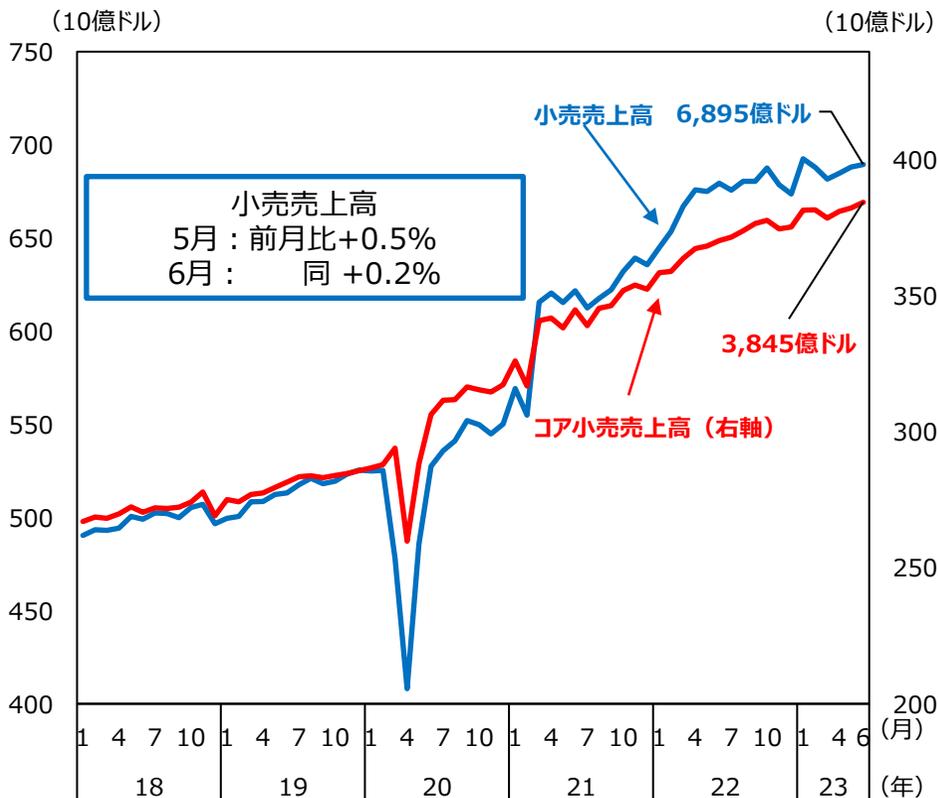
鉱工業生産指数の内訳



米国 消費

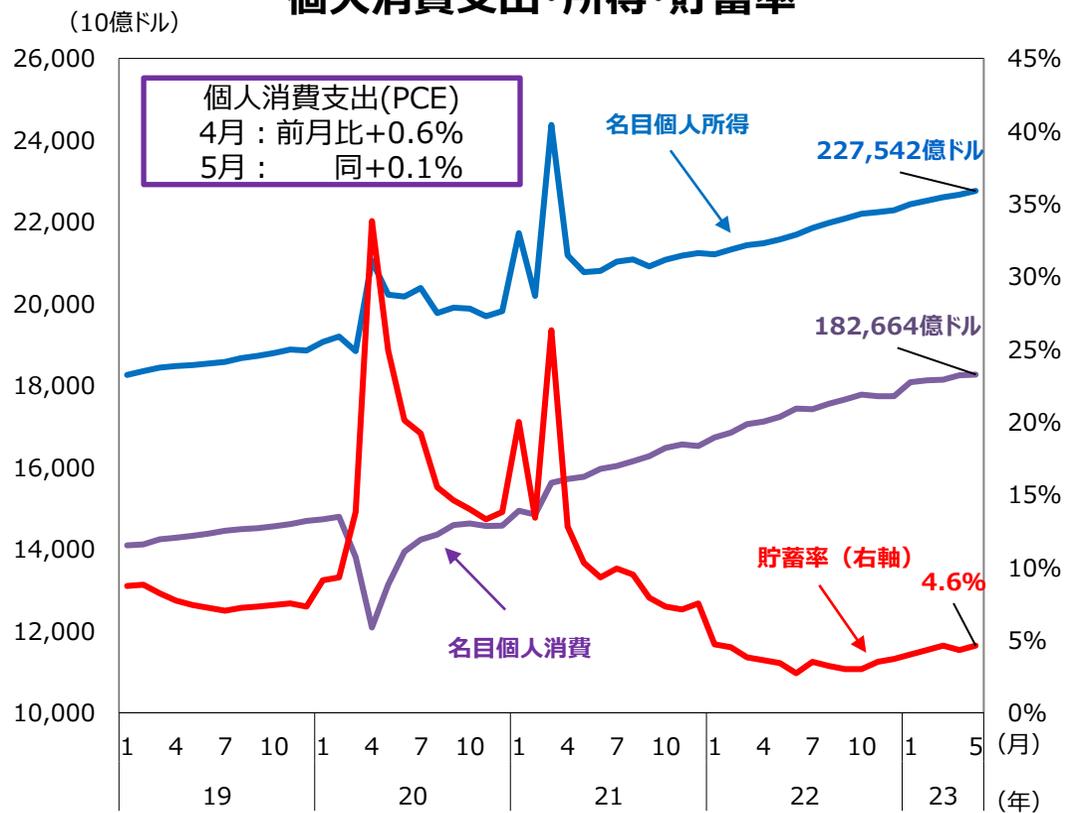
- 23年6月の小売売上高は、前月比+0.2%（前月：同+0.5%）となった。
- 23年5月の個人消費支出（PCE）は、前月比+0.1%（前月：同+0.6%）となった。

小売売上高の推移



(資料) 米商務省「小売売上高」2023年7月18日公表
 (注) 季節調整値。コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリンスタンド、建材、飲食店を除く。

個人消費支出・所得・貯蓄率

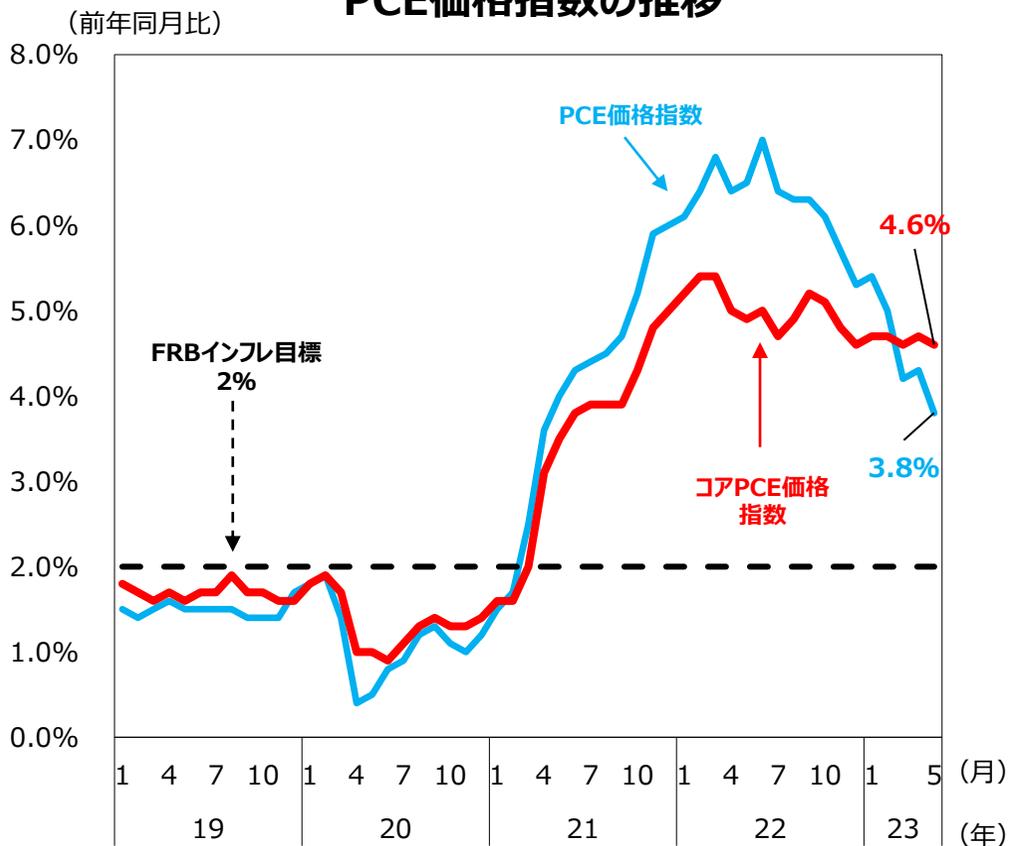


(資料) 米商務省「個人消費・所得」2023年6月30日公表
 (注) 季節調整値。

米国 物価①

- 23年5月のPCE価格指数は、前年同月比+3.8%（前月:同+4.3%）。
- 23年6月の消費者物価指数（CPI）は、前年同月比+3.0%（前月:同+4.0%）。

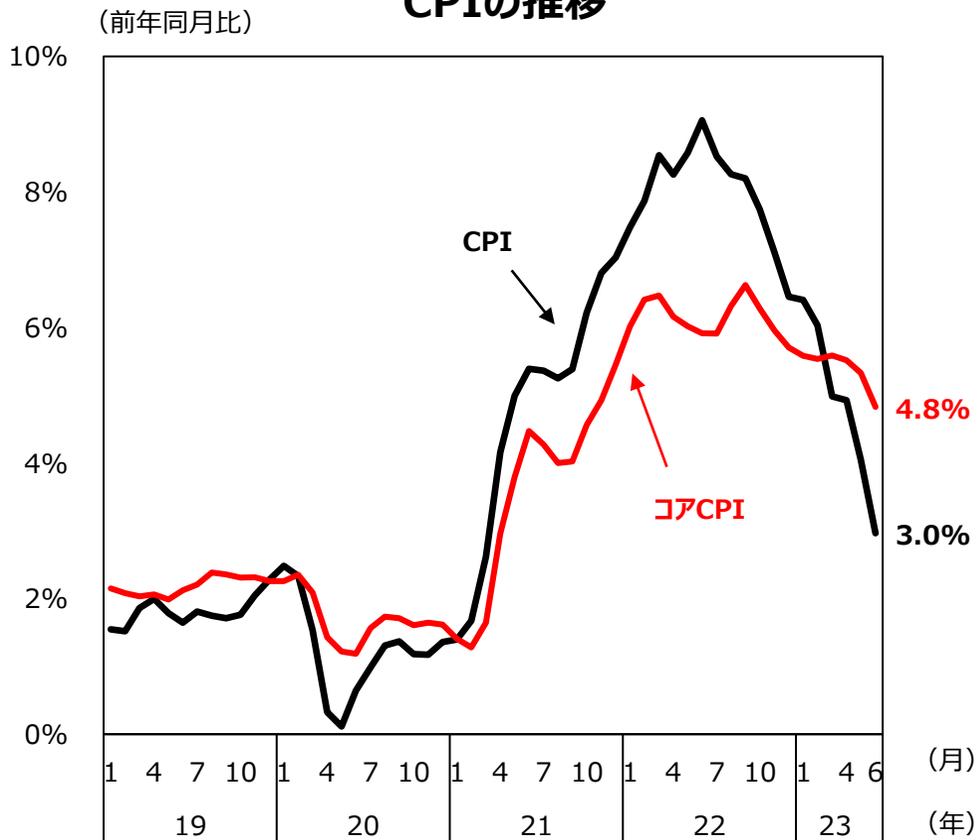
PCE価格指数の推移



(資料) 米商務省「PCE価格指数」2023年6月30日公表

(注) コアは自動車（同部品は含まない）、ガソリン、建材、飲食を除く。

CPIの推移



(資料) 米労働省「消費者物価指数（CPI）」2023年7月12日公表

(注) コアは食料、エネルギーを除く。

ご参考：CPIと個人消費支出（PCE）価格指数との主な違いは以下のとおり。なお、FRBはPCE価格指数をインフレ指標としている。

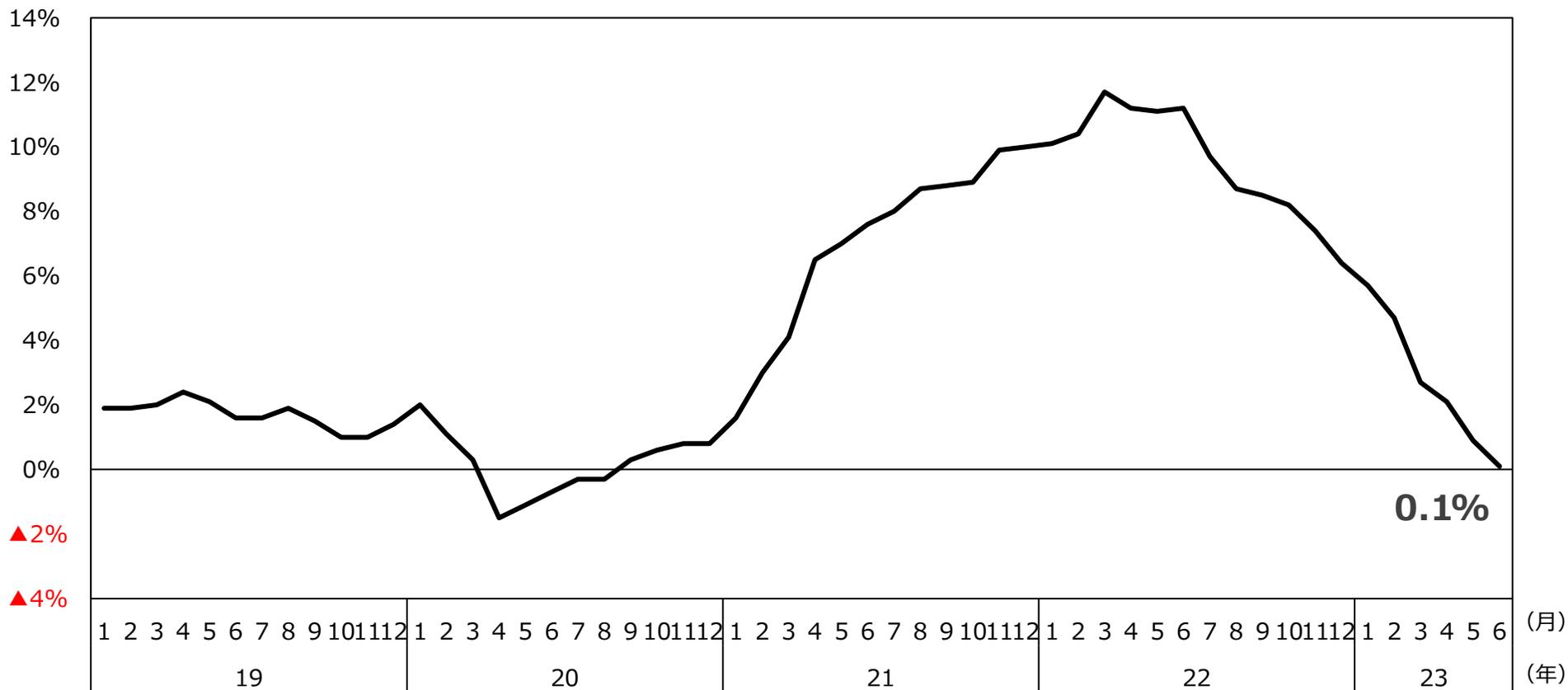
①計算方法：CPIはラスパイルス指数を使用しており、上方バイアスが生じる。これに対し、PCEはフィッシャー指数（ラスパイルス指数とパーシェ指数の幾何平均）を用いており、バイアスが生じにくい。②対象：CPIは消費者が直接的に支払う消費支出。PCEは保険制度による医療費の負担など間接的な支払いを含む。

米国 物価②

- 23年6月のPPI（卸売物価指数）は前年同月比+0.1%と、前月（同+0.9%）から上昇ペースは鈍化した。

(前年同月比)

PPIの推移

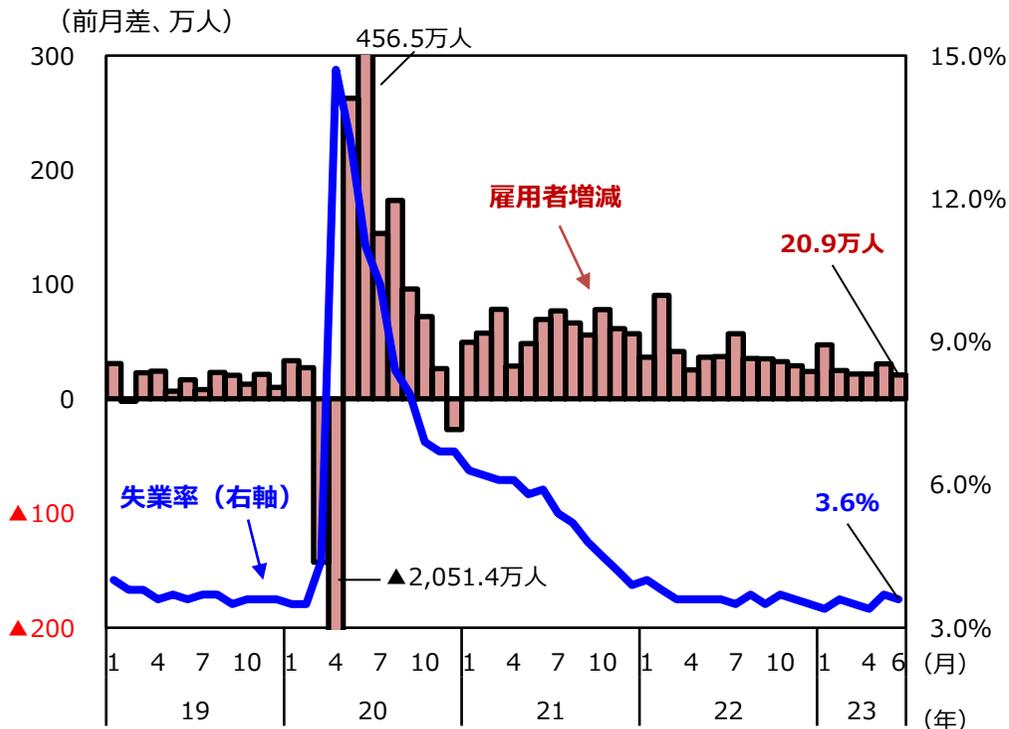


(資料) 米労働省「卸売物価指数」2023年7月13日公表

米国 雇用

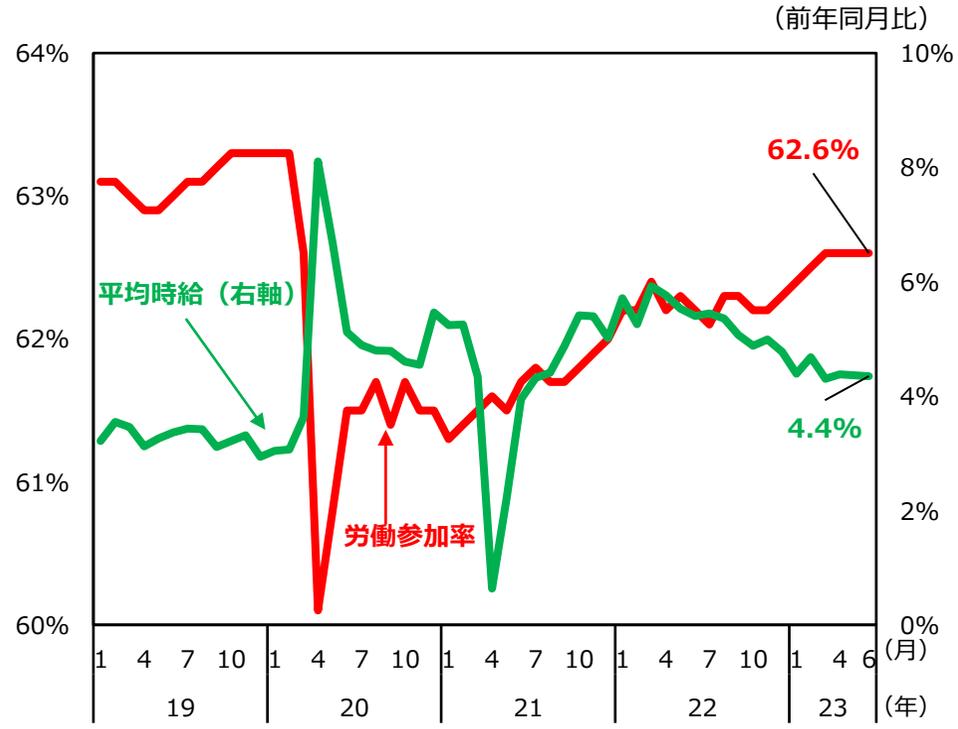
- 23年6月の非農業部門雇用者数は前月差+20.9万人と、前月（同+30.6万人）から減少した。
- 失業率は3.6%と、前月（3.7%）から低下した。
- 平均時給は3か月連続で前年同月比+4.4%となり、労働参加率は4か月連続で62.6%となった。

雇用者数増減と失業率



(資料) 米労働省 2023年7月7日公表
(注) 季節調整値

労働参加率と平均時給



(資料) 米労働省 2023年7月7日公表
(注) 季節調整値

日本經濟

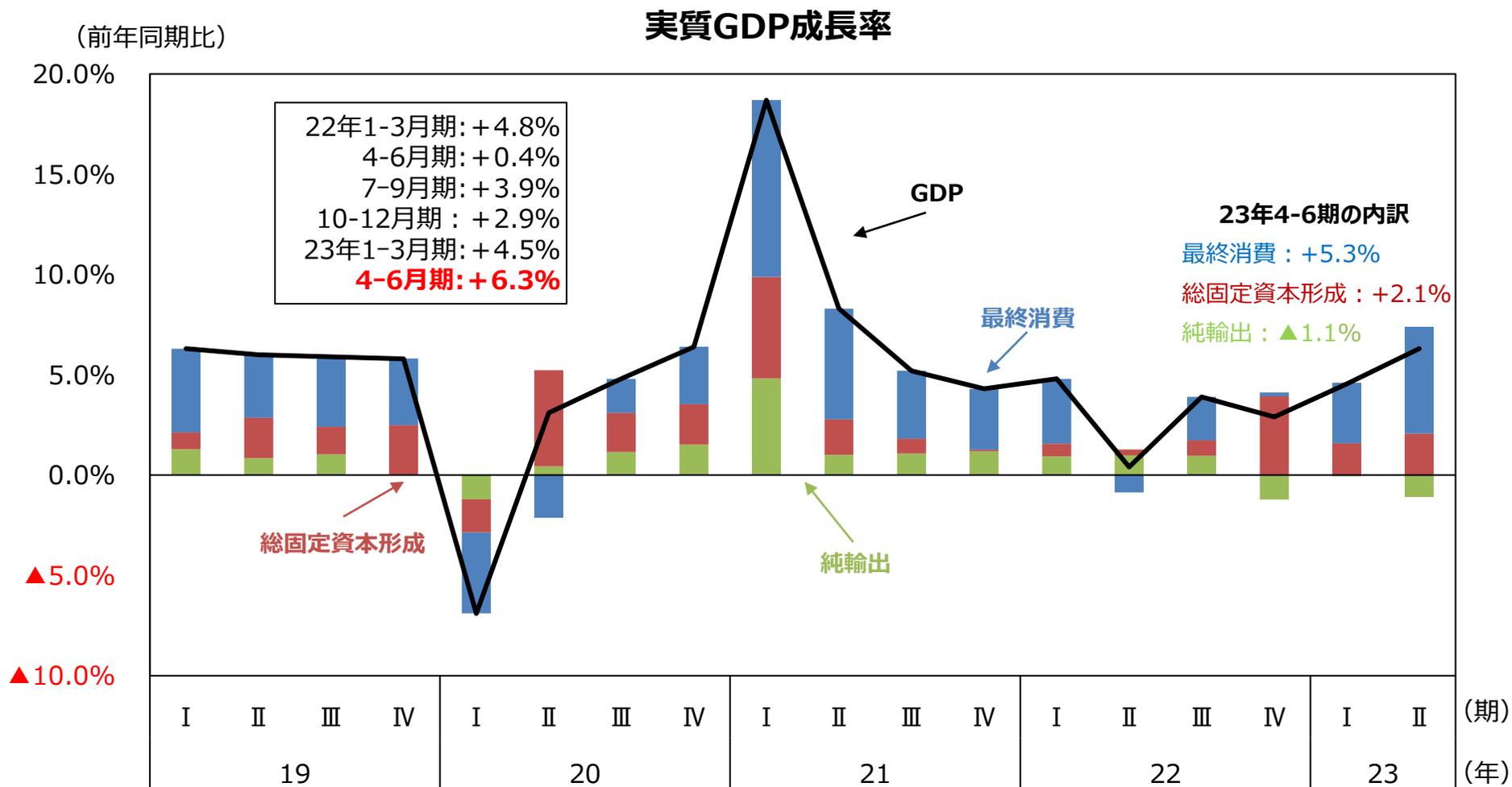
米國經濟

中國經濟

歐洲經濟

中国 GDP

- 23年4-6月期の実質GDP成長率は、前年同期比+6.3%と前期（+4.5%）から加速した。

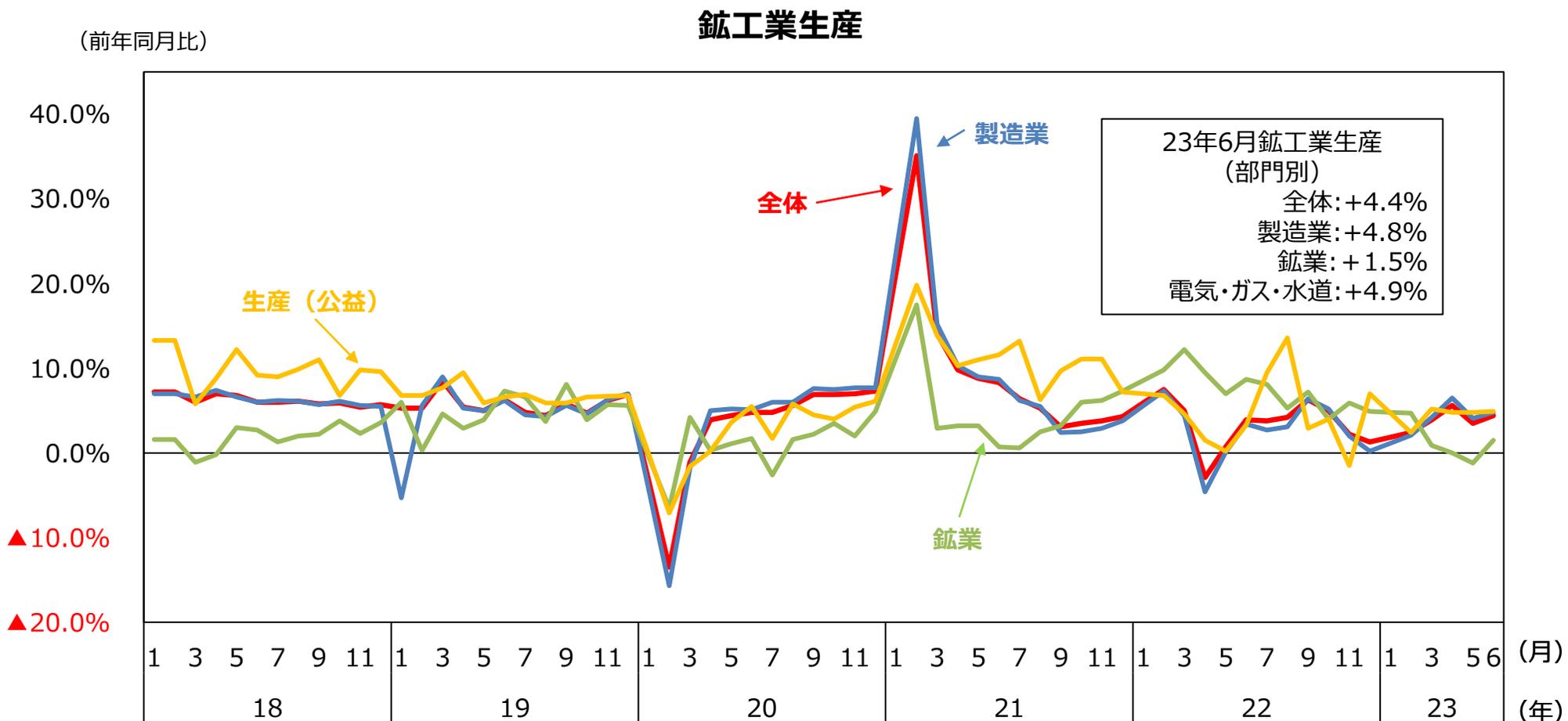


(資料) CEIC(中国国家統計局) 2023年7月19日公表

(注) 総固定資本形成：住宅投資、設備投資、公共投資などの固定資本の追加分。

中国 生産

- 23年6月の鉱工業生産は、前年同期比+4.4%と前月（同+3.5%）から伸びが加速した。
- 製造業の生産は、前年同期比+4.8%（前月：同+4.1%）、鉱業は同+1.5%（前月：同▲1.2%）、電気・ガス・水道は同+4.9%（前月：同+4.8%）と、いずれも伸びが加速した。



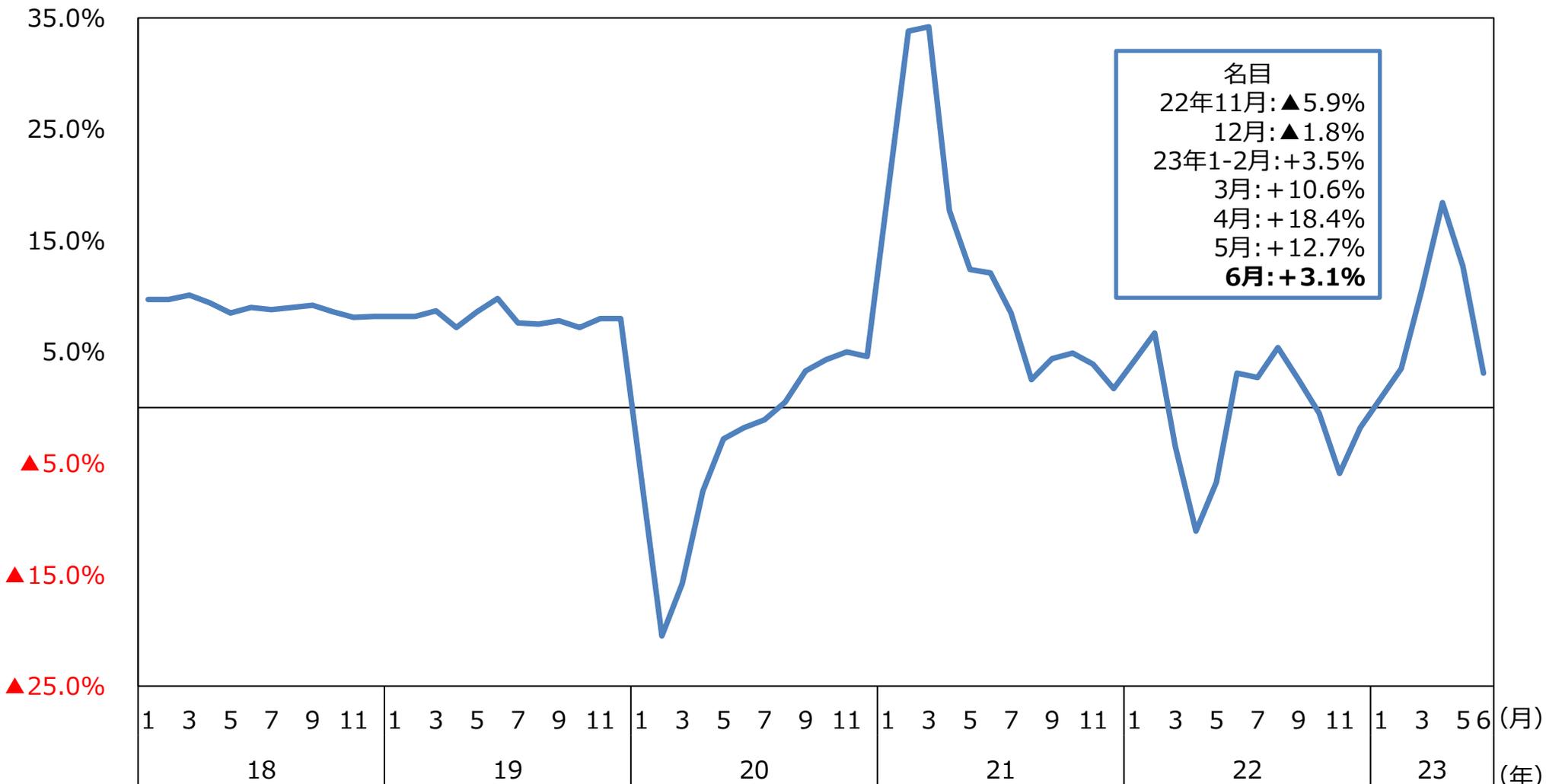
（資料）CEIC(中国国家统计局) 2023年7月17日公表

中国 消費

- 23年6月の名目小売売上高は、前年同期比+3.1%と、前月（同+12.7%）から伸びが大幅に鈍化。

(前年同月比)

小売売上高



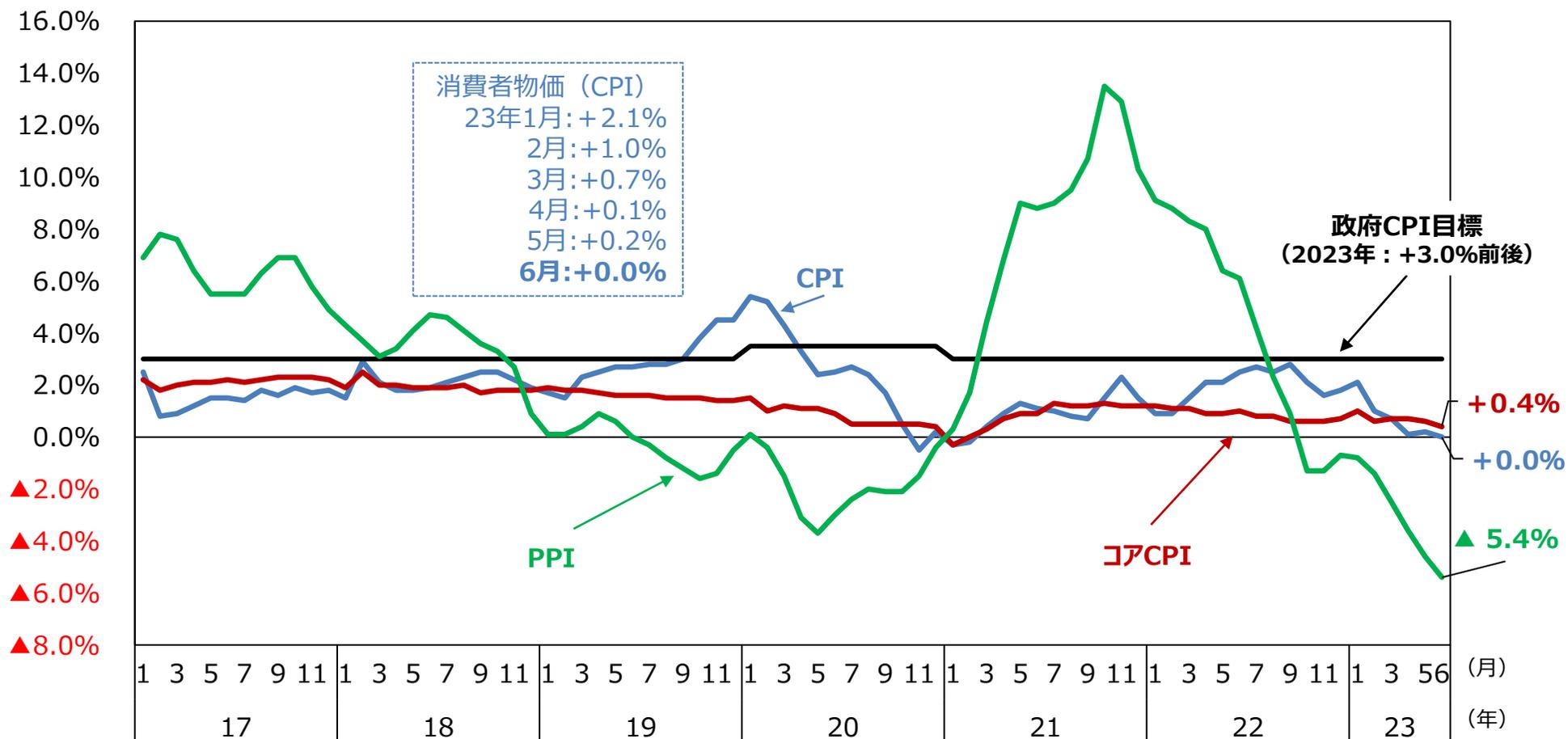
(資料) CEIC(中国国家统计局) 2023年7月17日公表

中国 物価

- 23年6月のCPI（消費者物価指数）は、前年同月比+0.0%（前月:+0.2%）と伸びが鈍化。
- PPI（生産者物価指数）は、前年同月比▲5.4%（前月:▲4.6%）と9ヶ月連続のマイナスとなった。

物価

(前年同月比)



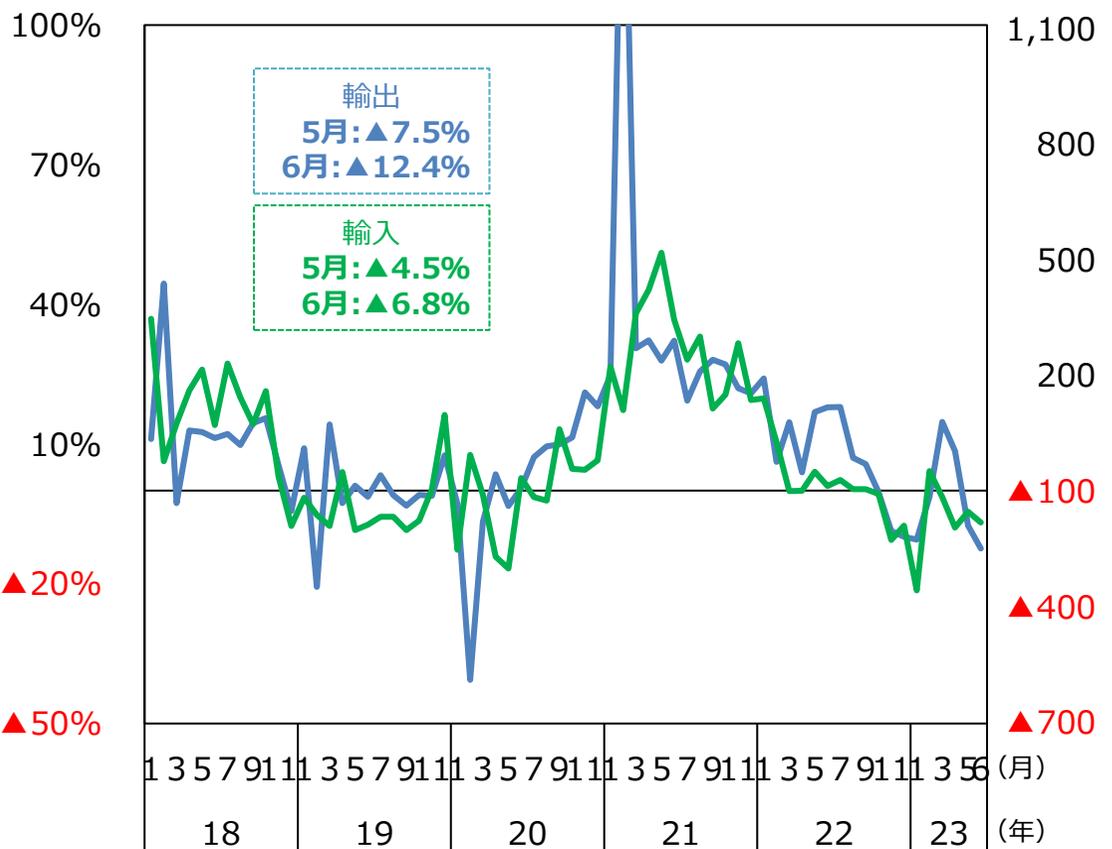
(資料) CEIC (中国国家統計局) 2023年7月10日公表

中国 貿易

- 23年6月の輸出額は前年同月比▲12.4%、輸入額は同▲6.8%といずれもマイナス幅が拡大した。
- 貿易収支は+706億ドルと、5月の+658億ドルから黒字が増加した。

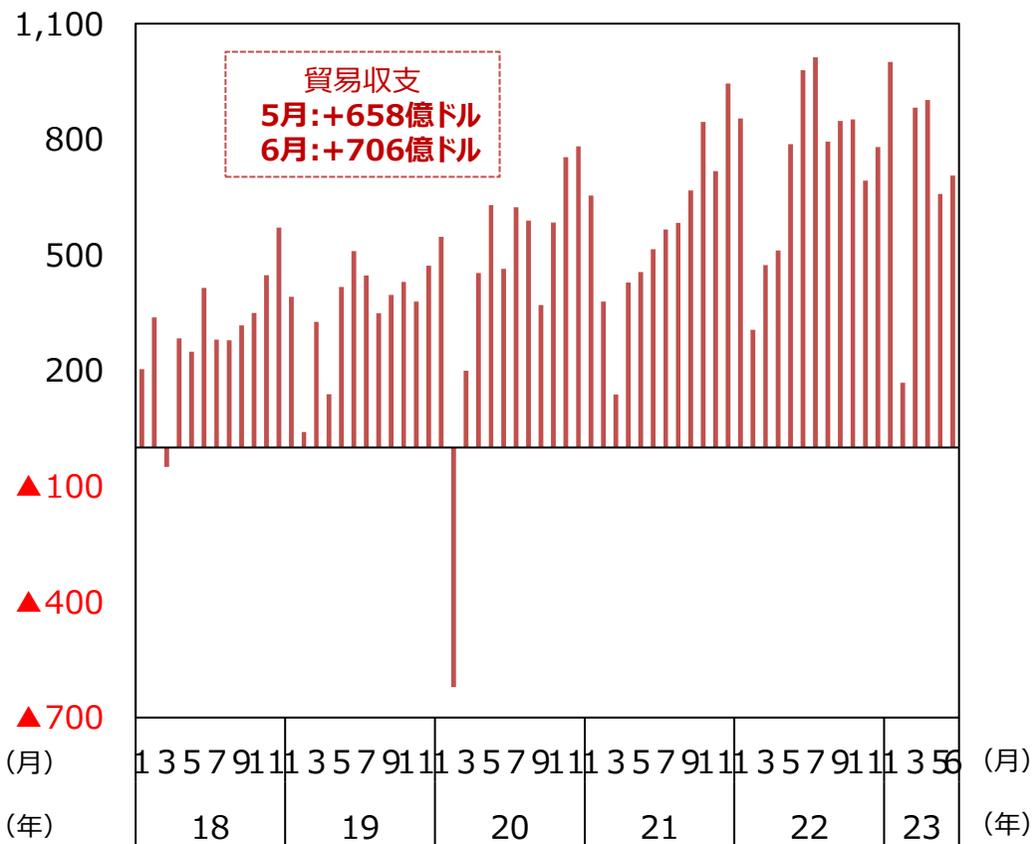
輸出入額

(前年同月比)



貿易収支

(億ドル)

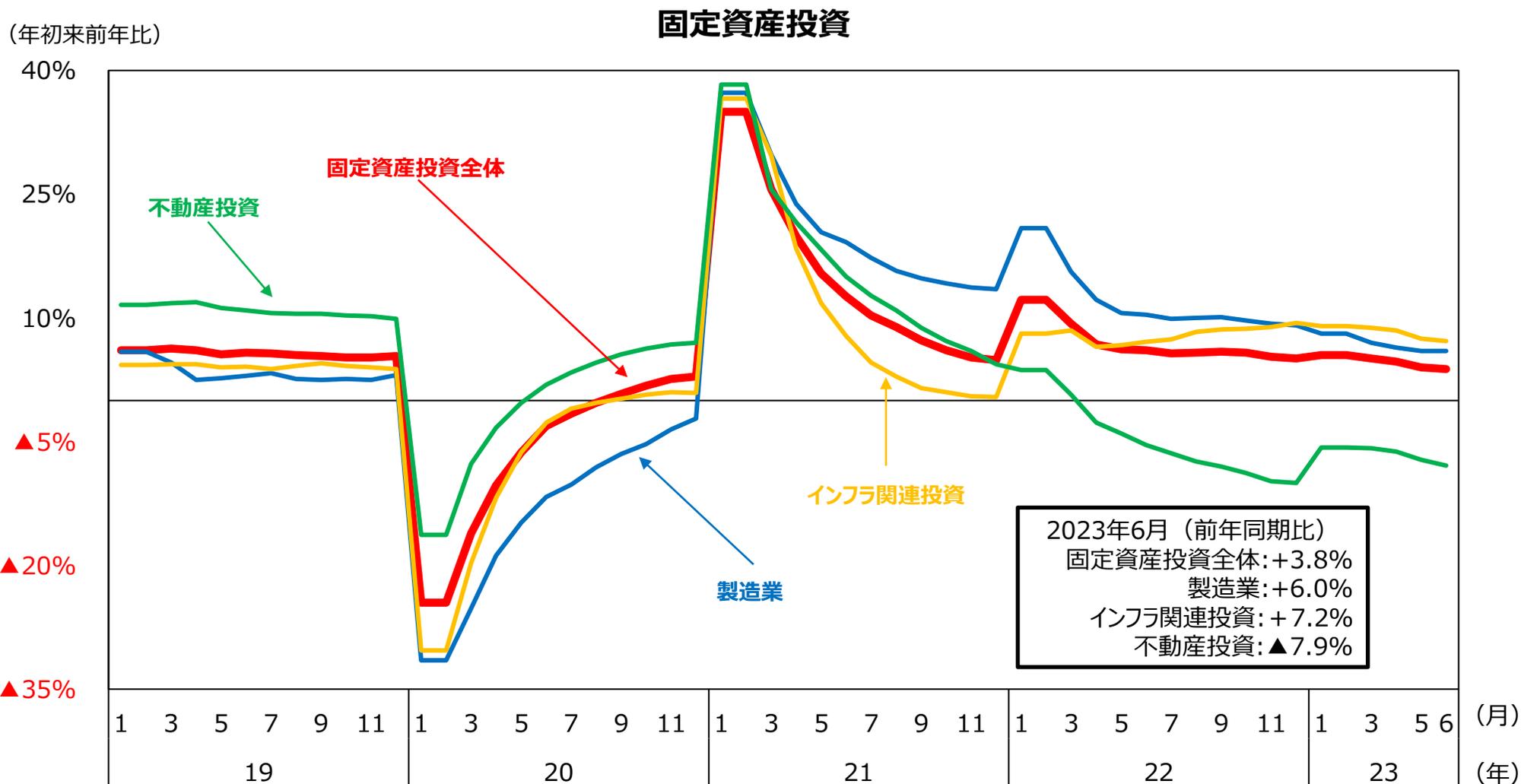


(資料) CEIC (中国税関総署) 2023年7月13日公表

(注) ドルベース

中国 固定資産投資

- 23年6月の固定資産投資は年初来前年比 (注) +3.8%と、前月 (同+4.0%) から伸びが鈍化した。



(資料) CEIC(中国国家统计局) 2023年7月17日公表

(注) 年初来前年比: 1月から当月までの累計の前年比

日本經濟

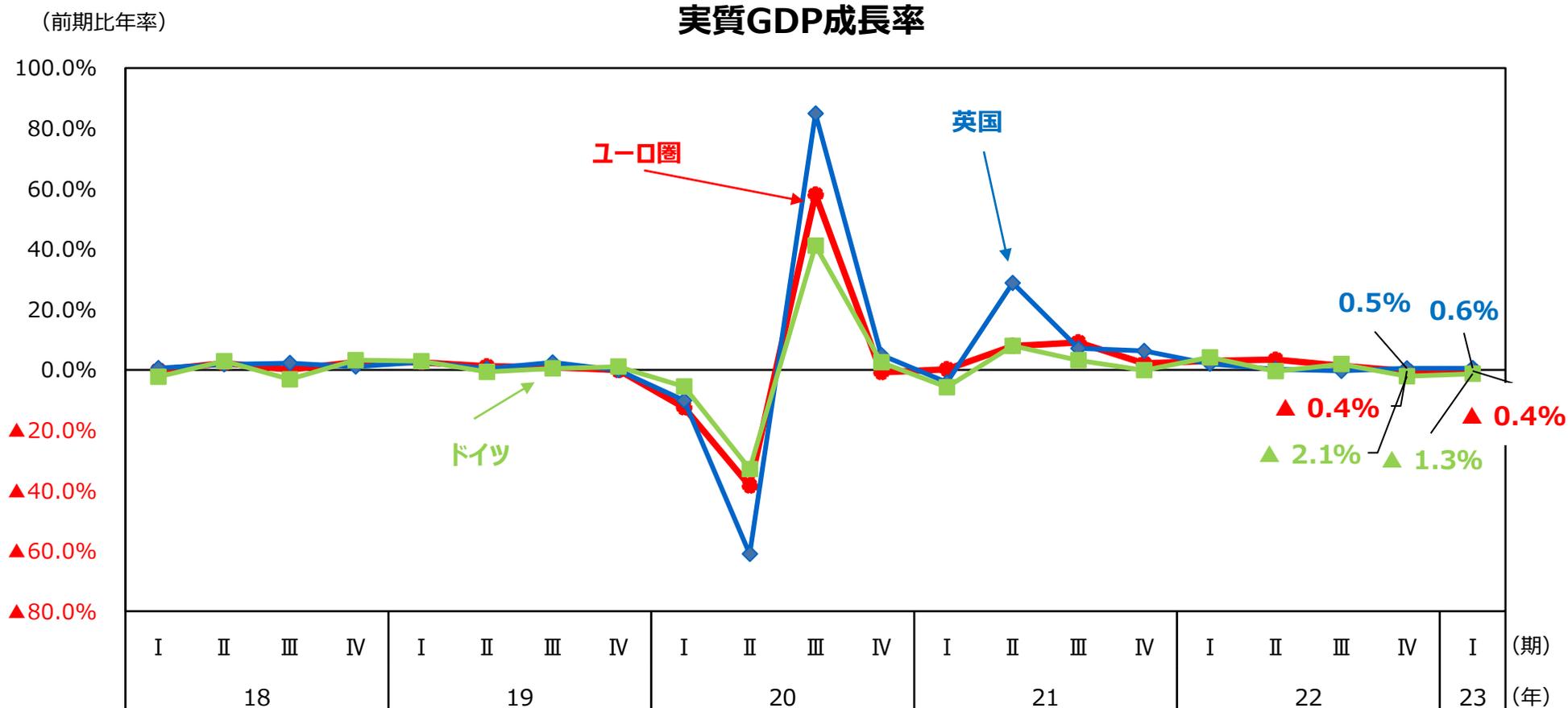
米國經濟

中國經濟

歐洲經濟

欧州 実質GDP成長率

- ユーロ圏の23年1-3月期GDPは前期比年率▲0.4%（前期：同▲0.4%）と、小幅ながら2四半期連続のマイナス成長となった。ドイツも、2四半期連続のマイナス成長。
- 英国の23年1-3月期GDPは前期比年率+0.6%（前期：同+0.5%）と、2四半期連続のプラス成長となった。

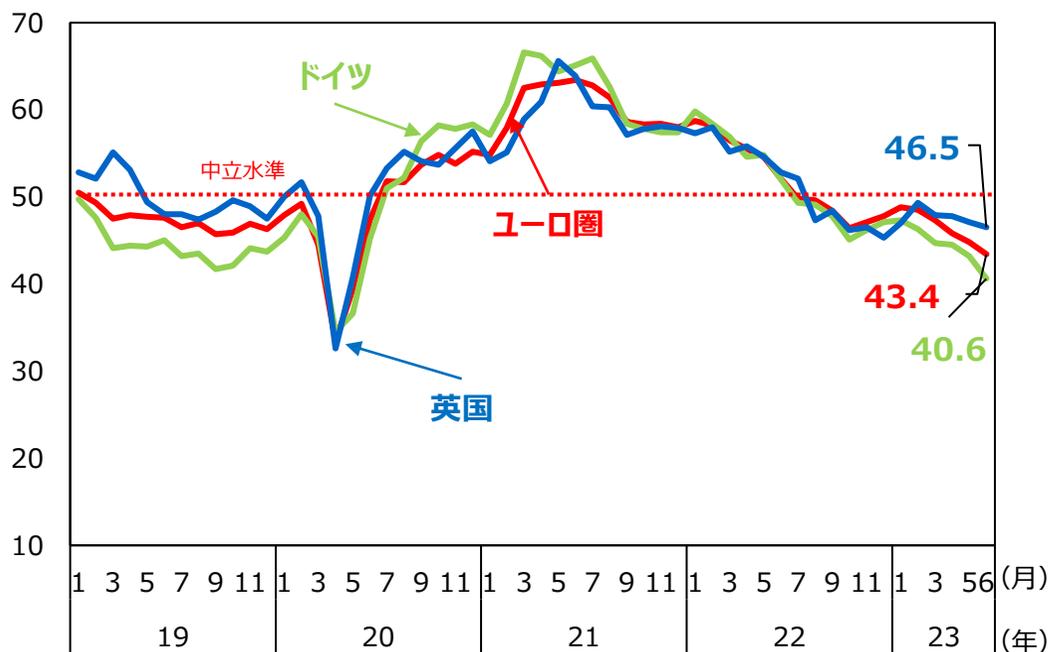


(資料) ユーロ圏：欧州連合統計局「GDP統計」2023年6月8日公表（確報値）、英国：英国国家統計局「GDP統計」2023年6月30日公表（確報値）、ドイツ：ドイツ連邦統計局「GDP統計」2023年5月25日公表（確報値）

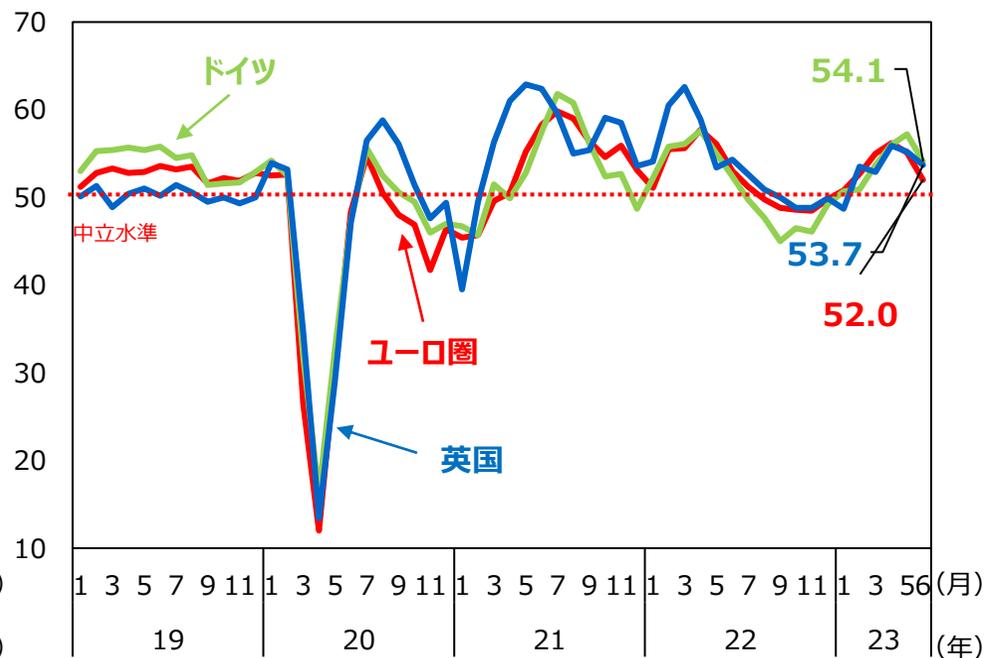
欧州 製造業・サービス業景況指数 (PMI)

- ユーロ圏の6月の製造業景況指数は、43.4と前月（44.8）から低下。
ドイツは40.6と、前月（43.2）から低下。
- 英国の6月の製造業景況指数は、46.5と前月（47.1）から低下。
- ユーロ圏の6月のサービス業景況指数は、52.0と前月（55.1）から低下。
ドイツは54.1と、前月（57.2）から低下。
- 英国の6月のサービス業景況指数は、53.7と前月（55.2）から低下。

製造業景況指数



サービス業景況指数



(資料) S&P Global「マーケットPMI」 製造業：2023年7月3日公表（確報値） 非製造業：2023年7月5日公表（確報値）

(注) 調査対象は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オランダ、オーストリア、アイルランド、ギリシャの8か国（ユーロ圏の生産の約89%）。

欧州 生産

- ユーロ圏の5月の鉱工業生産指数は前月比+0.2%と、2ヶ月連続の増加となった。国別で見ると、フランスは同+1.3%と増加した一方で、ドイツは同▲0.2%と減少した。
- 英国の5月の鉱工業生産指数は前月比▲0.6%と、2ヶ月連続の減少となった。

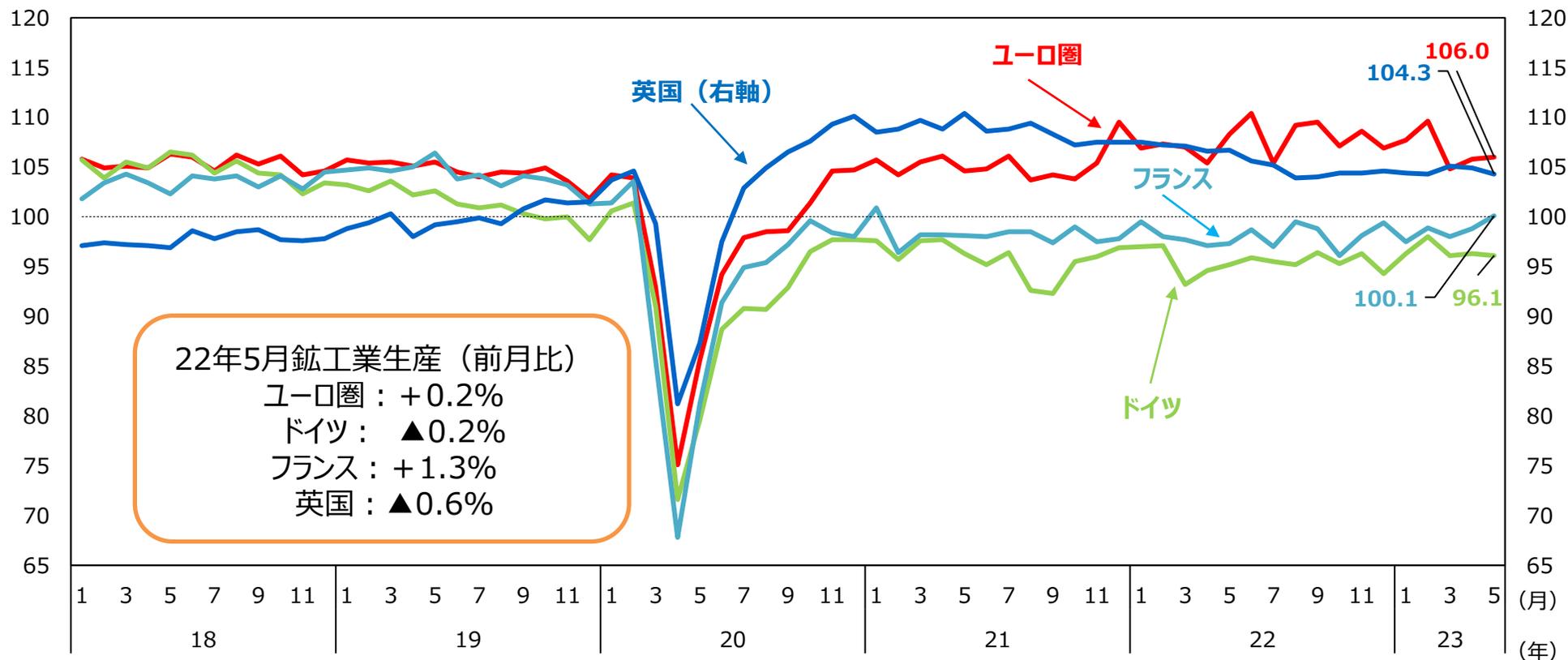
ユーロ圏・ドイツ・フランス

(2015年=100)

鉱工業生産

英国

(2019年=100)



(資料) ユーロ圏・ドイツ・フランス：欧州連合統計局「鉱工業生産」2023年7月13日公表、英国：英国国家統計局「鉱工業生産」2023年7月13日公表

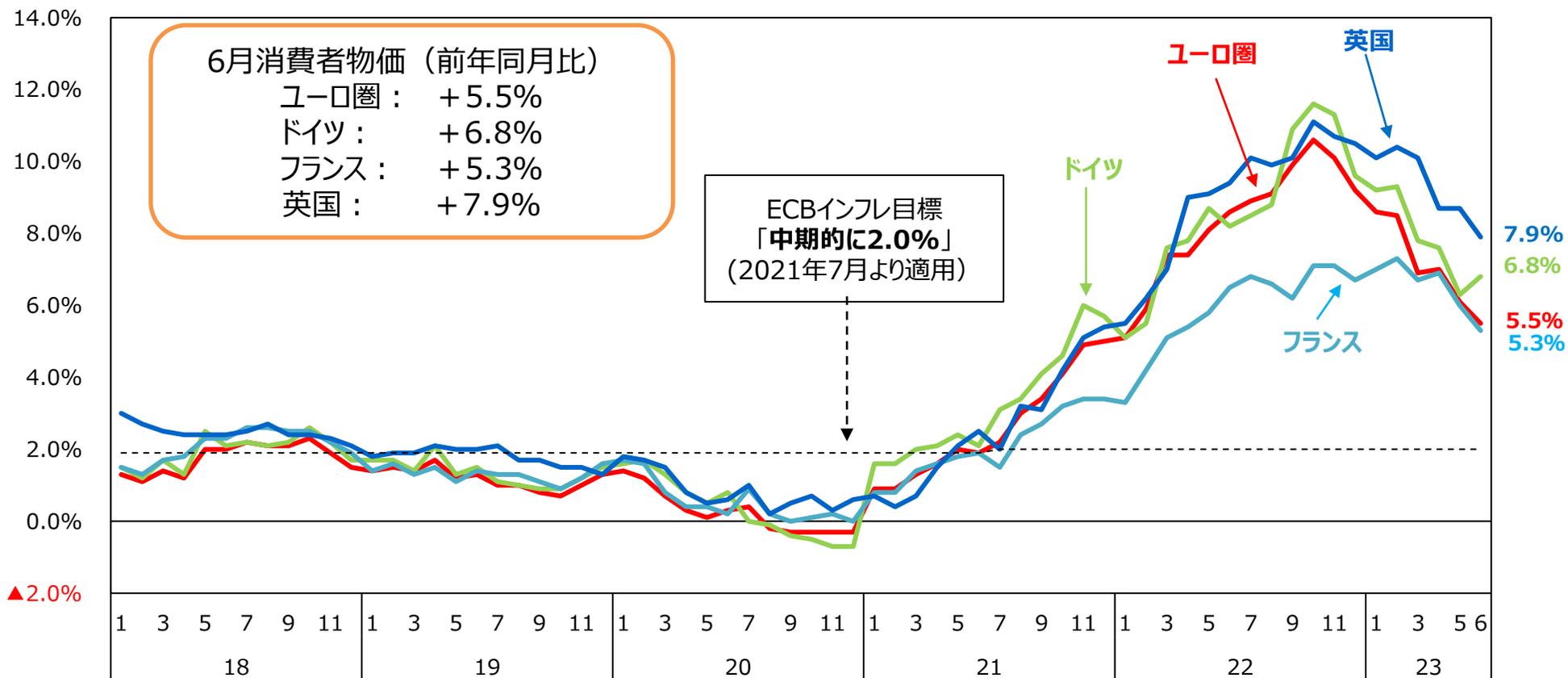
(注) 建設業を除く、季調値。

欧州 物価①

- ユーロ圏の6月の消費者物価（H I C P）は、前年同月比+5.5%と、前月（同+6.1%）から伸びが鈍化。
- 英国の6月の消費者物価（C P I）は、前年同月比+7.9%と、前月（同+8.7%）から伸びが鈍化。

(前年同月比)

消費者物価指数



(資料) ユーロ圏・ドイツ・フランス：欧州連合統計局「EU基準消費者物価指数」2023年7月19日公表（改定値）

英国：英国国家統計局「消費者物価指数」2023年7月19日公表

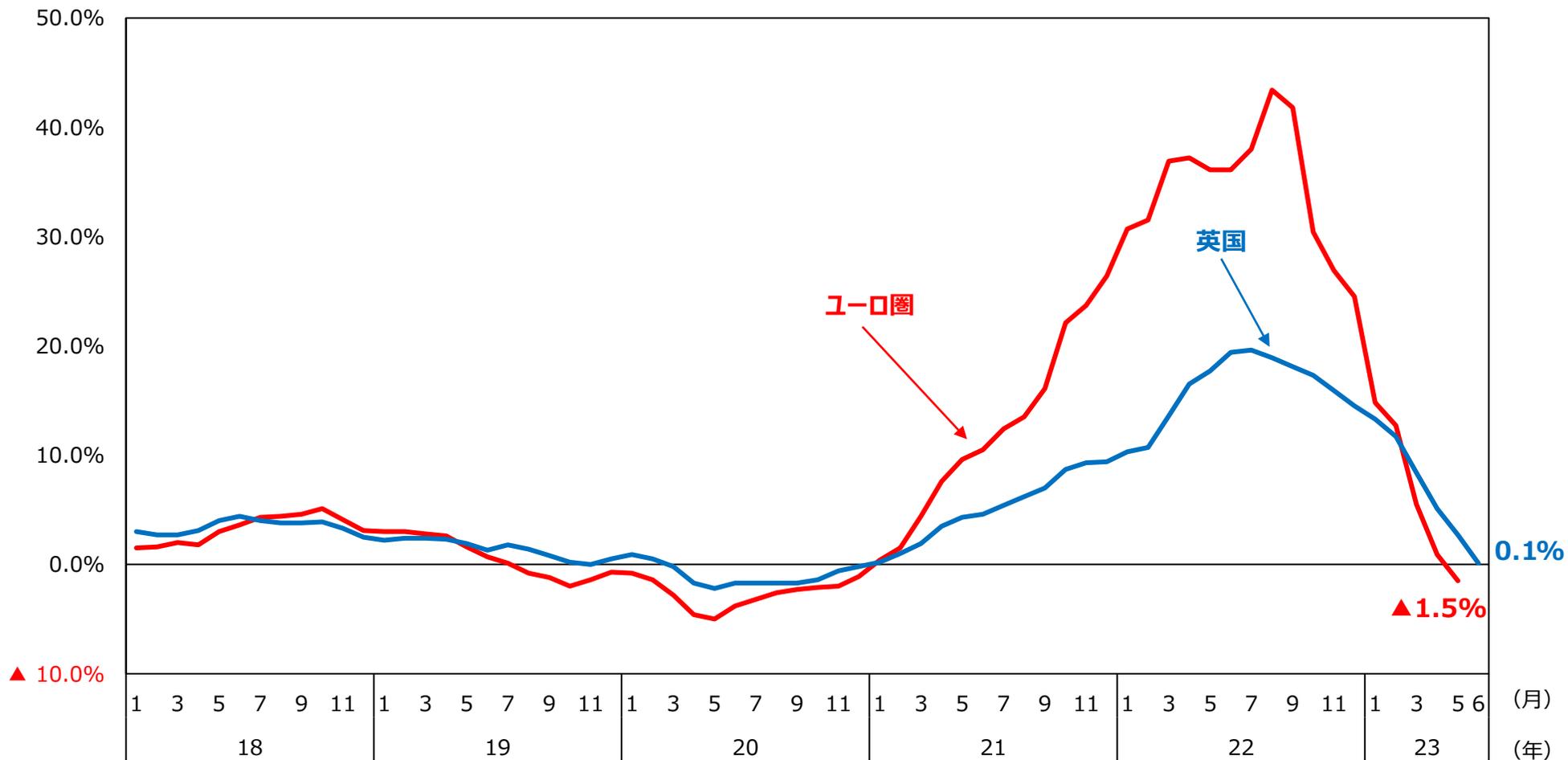
(年/月)

欧州 物価②

- ユーロ圏の5月の企業物価指数は、前年同月比▲1.5%（前月：同+1.0%）と、低下。
- 英国の6月の生産者物価指数（出荷）は、前年同月比+0.1%（前月：同+2.7%）と伸びが鈍化。

企業物価指数

（前年同月比）



（資料）ユーロ圏：欧州連合統計局「生産者物価指数」2023年7月5日公表

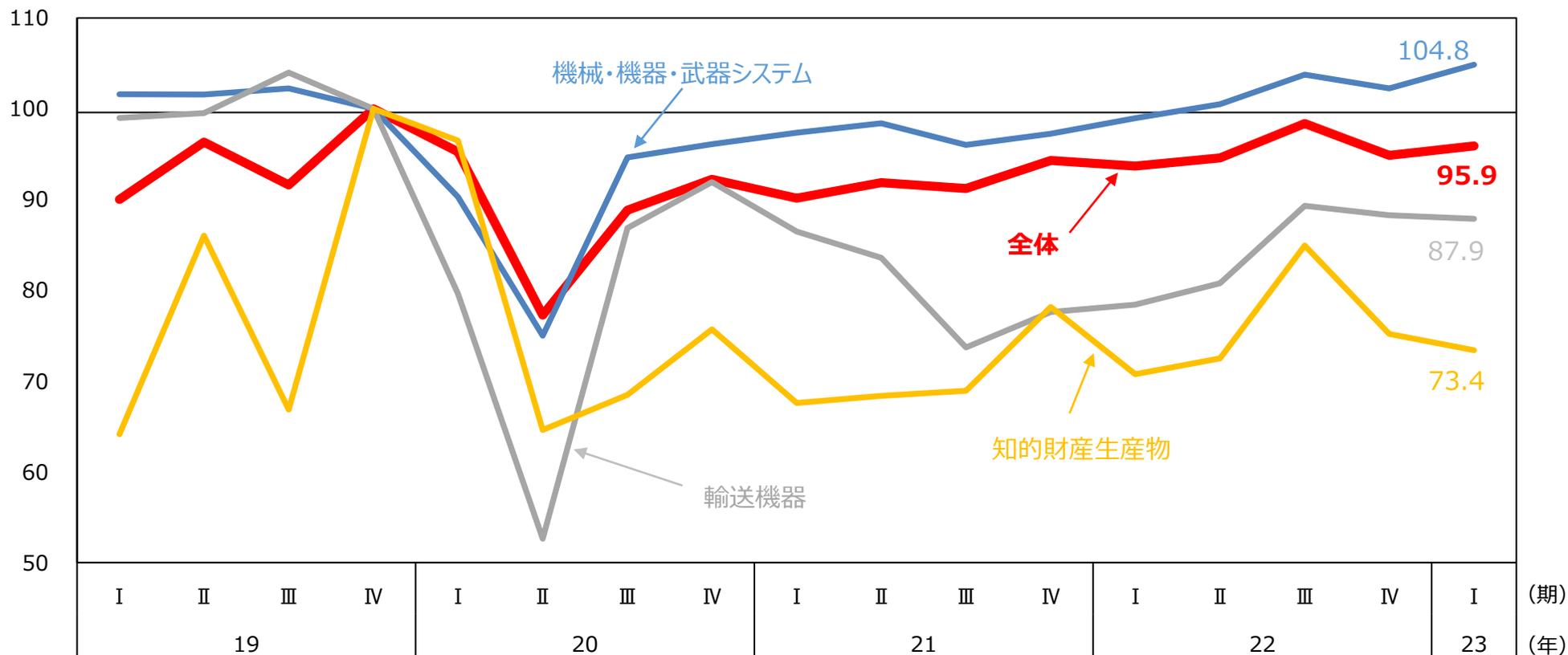
英国：英国国家統計局「生産者物価指数（Output）」2023年7月19日公表

欧州 設備投資

- 23年1-3月期の設備投資額は、コロナ禍前の19年10-12月期と比較すると、全体では▲4.1%。
- 分野別では、機械・機器・武器システムは+4.8%、輸送機器は▲12.1%、知的財産生産物は▲26.6%。総じて見れば持ち直し傾向にある一方で、依然として機械・機器・武器等を除く多くの品目でコロナ前の水準には戻っていない。

(2019 Q4 = 100)

設備投資

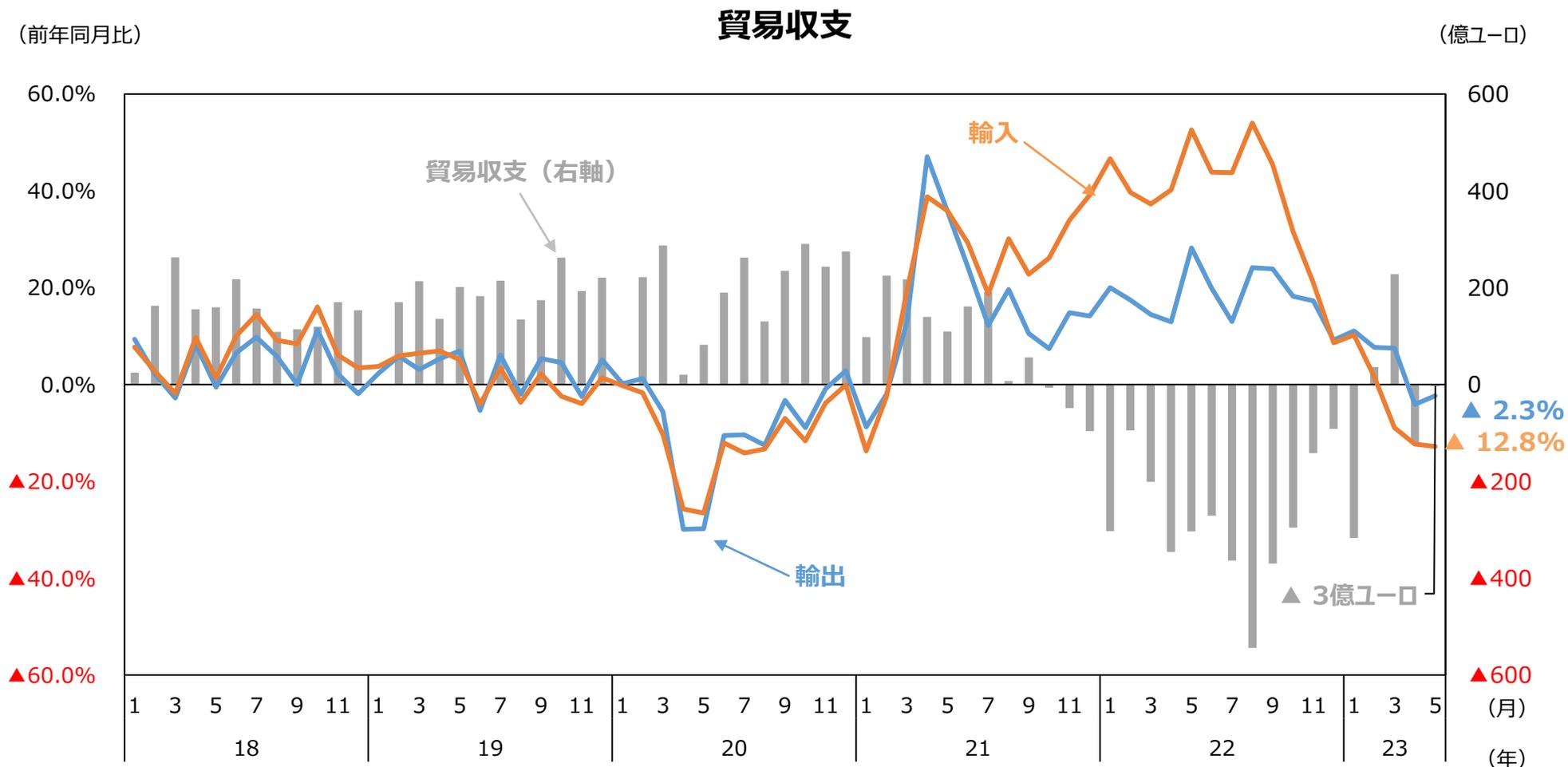


(資料) 欧州連合統計局「総固定資本形成及びその内訳」2023年6月8日公表

(注) 季節調整値、知的財産生産物は、研究開発・ソフトウェアを含む無形資産投資を示す。

欧州 輸出入

- ユーロ圏5月の輸出額（2,419億ユーロ）は、前年同月比▲2.3%、輸入額（2,422億ユーロ）は、同▲12.8%。
- 5月の貿易収支は▲3億ユーロと、2か月連続の赤字。

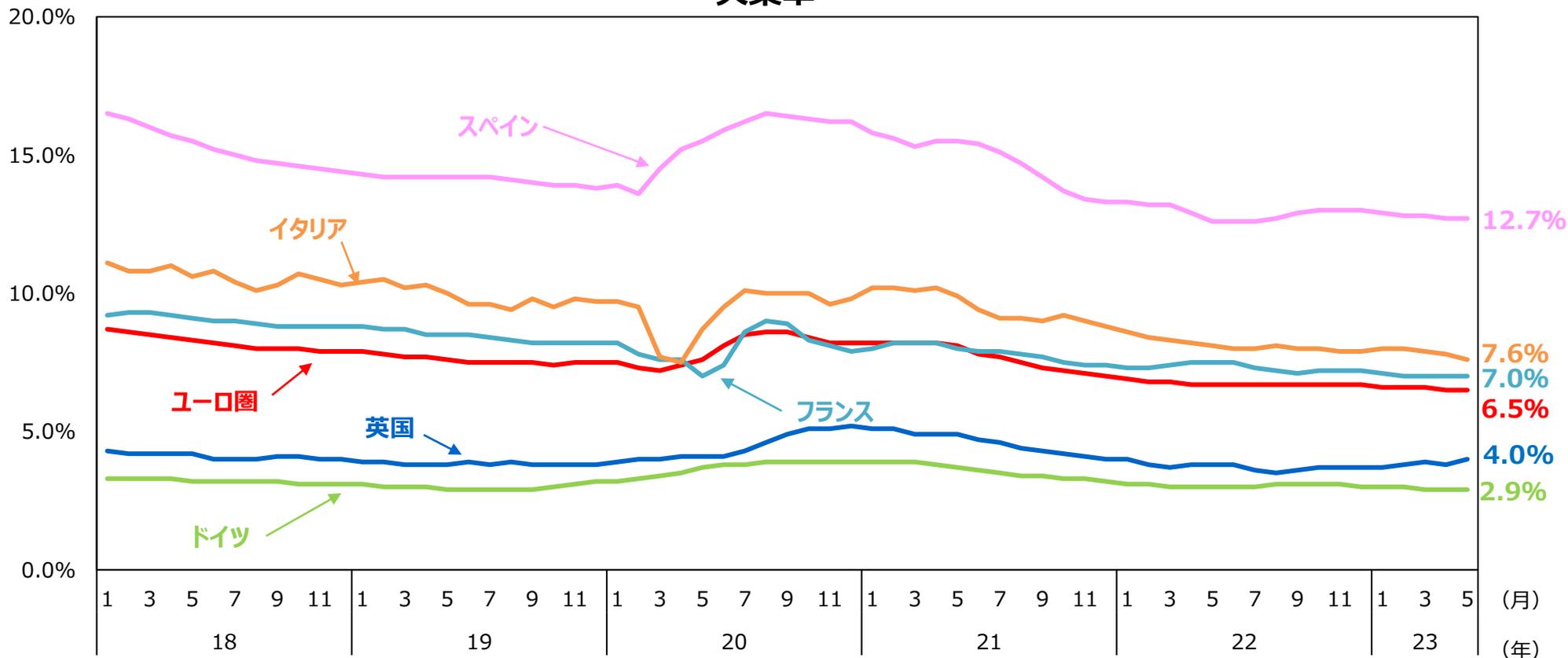


(資料) 欧州連合統計局「貿易統計」2023年7月14日公表

欧州 雇用

- ユーロ圏の5月の失業率は6.5%と、前月（6.5%）から横ばい。失業率は、過去最低を継続している。
- 国別では、イタリア（7.8%→7.6%）は改善。スペイン（12.7%→12.7%）、フランス（7.0%→7.0%）、ドイツ（2.9%→2.9%）は、いずれも横ばい。
- 英国の5月の失業率は4.0%と、前月（3.8%）から悪化。

失業率



(資料) ユーロ圏・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン：欧州連合統計局「失業率」2023年6月30日公表、英国：英国国家統計局「失業率」2023年7月11日公表